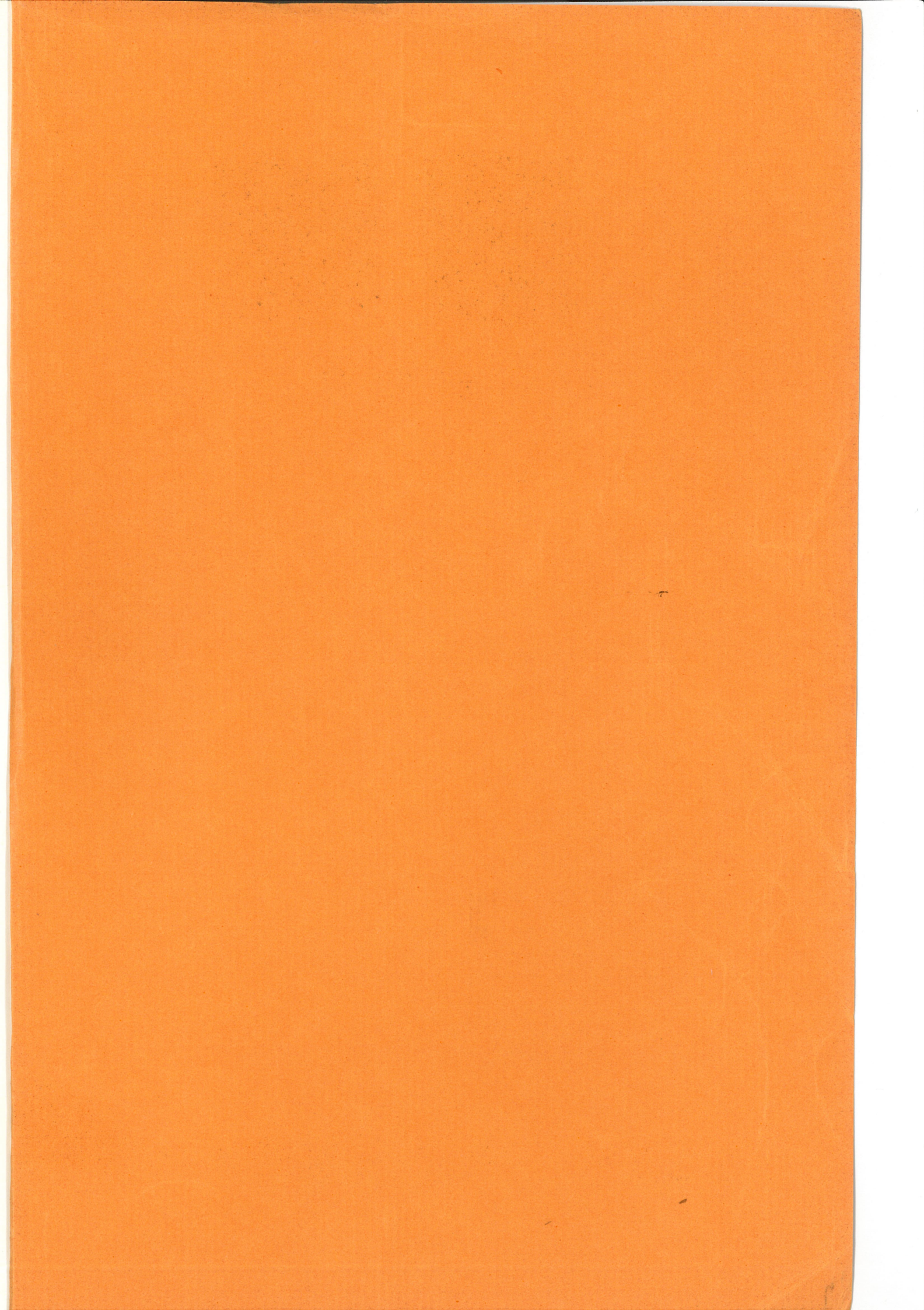


漕魂

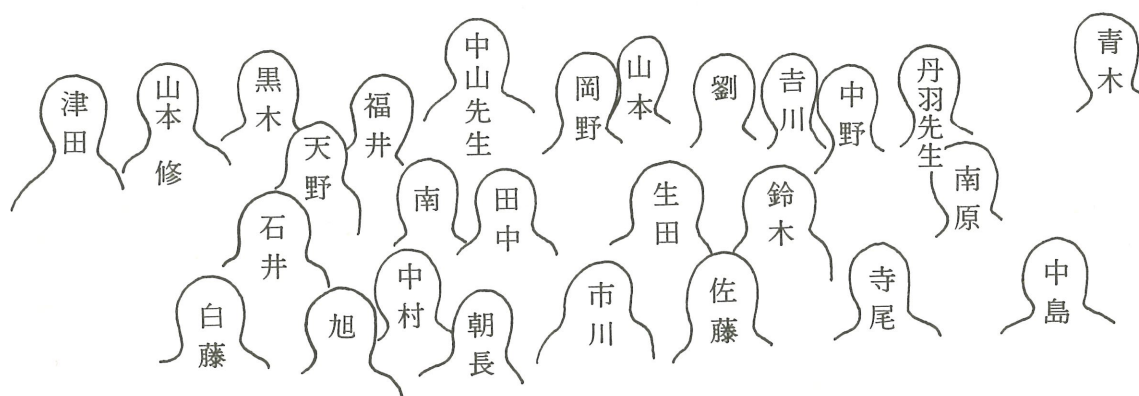
第 12 号

1987年 長崎大学医学部漕船





昭和61年 西 医 体 (於琵琶湖)



目次

巻頭言

私のボート……………前漕艇部部长 高久 功……………1

寄稿

grey pantner……………OB协会会长 村上 文也……………2

中国に旅して……………薬理第二教室(新漕艇部部长) 尾崎 正若……………2

高久先生退官記念パーティー……………5

昭和61年度年中行事報告……………7

卒業にあたって

気分は……………(我思う、ゆえに……………) 青木 幹弘……………17

部員雑感

「今年の目標」……………石井 久敬……………18

先シーズン考えたこと……………岡野 邦彦……………19

ボート部員と音楽……………中島 寅彦……………21

「雑感」……………朝長 道生……………22

雑感……………金色 正広……………27

better rowing and training

天野 秀明……………28

予告……………吉川 公正……………32

「苦痛から笑みがこぼれる」……………旭 隆宏……………33

旅——中国へ……………白藤 智之……………34

ラストシーズン?……………寺尾 保信……………36

ボクとボート……………中村 晋……………36

有言実行——出来たらなあ——……………山本 太郎……………37

トレーニングについて……………山本 修……………38

今日この頃……………生田 安司……………40

「無題2」……………鈴木 康弘……………41

人の生き方について——僕が僕であるために——……………田中 邦彦……………42

今思うこと……………劉 中誠……………44

M君のすばらしさについて……………南原 成三……………44

HUNGRY SPIRITS 留年編……………福井 雅士……………45

「我ながらかわいい自分」……………黒木 保……………46

「僕がその事について知っている 二、三の事柄」について	佐藤俊一	48
--------------------------------	------	----

今日の日はさようなら	津田純	49
------------	-----	----

「道産子の私は旅行大好き」	中野基	49
---------------	-----	----

入学まえ	南恵樹	51
------	-----	----

特殊年中行事報告

ボート部の芸風の変化について	岡野邦彦	53
----------------	------	----

長崎大学漕艇部練習中における医学部漕艇部所有のナツクル艇 「おおよど31号」の水没事故の御報告と事後対策について		
---	--	--

長崎大学漕艇部 部長 中嶋裕昭	55
-----------------	----

長崎大学医学部漕艇部OB会 昭和61年度会計報告	57
--------------------------	----

長崎大学医学部漕艇部OB会 昭和62年度予算案	58
-------------------------	----

長崎大学医学部漕艇部 昭和61年度会計報告	59
-----------------------	----

長崎大学医学部漕艇部OB会会則	61
-----------------	----

琵琶湖周航の歌	62
---------	----

長崎大学医学部漕艇部OB会役員名簿	63
-------------------	----

長崎大学医学部漕艇部OB会賛助会員名簿	64
---------------------	----

長崎大学医学部漕艇部OB会一般会員名簿	66
---------------------	----

長崎大学医学部漕艇部現役部員名簿	73
編集後記	76

△巻頭言▽

私のボート

前漕艇部部长 高 久 功

私がボートを漕ぎはじめたのは、旧制三高に入学してからである。

その頃も体格が大きく肥満型であったし、中学時代には鉄棒が大の苦手であったので、高校に入ったら身体を鍛えようというのが本音であった。

その当時高校の入試は一次と二次があり、二次は一次合格者に対する面接試験であった。二人の教授が机に席り、その前に受験生がすわる。机上には数学の答案がならべてあったが、私の点数は二百点満点で百九十九点であった。今の言葉なら「ヤッター」という所、試験官の一人が「数学がよく出来ているね、数学の途に進みたいのかね」と尋ねた。盲蛇におじずという言葉があるが、その先生は群論の大家で、いくつもの数学の賞をうけた方であった。この方に「やはり数学が好きですから、やって見たい」と答えた。もう一人の教授が「所で君は肥っているが、何の部に入りたいの」と尋ねられた。「ボート部に入りたい」と答えた所、二人で大笑いになった。というのは後から質問した教授は、学生課長でボート部の部長であり、毎年の進級会議ではボート部員の進級に頭を痛めておられる方で、お二人ともボート部に入れば成績は最低線であり、卒業出来るのかどうかもあやしい事をよく知っておられ、いわんや数学などは、というわけであった。

こうしてボートを漕ぐようになった私は、見事予言のごとく落第こそしなかったが、数学は遠い夢となってしまった。私のような男は、旧制高校には多く、オンチと呼ばれていた。現在日漕の役員をしている某君も、私の後輩であり、私よりもひどい男であったが、何を思ったか大学では数学科に入り、苦勞しながら立派な数学の教授になってしまった。

青春を完全に燃焼する。それだけの目標を求めることは、何時の世も重要なことであり、価値深いものである。私自身ボートで青春を送ったことに、何の疑問もないし、抵抗もない。部の共同生活は、まずよい友人に対する尊敬にはじまる。絶対的な苦みのなかで、自分には他の人の性格に対する畏敬をもつこと、自分と他人の区別を送えられることとなり、これが社会生活の基礎となるものではなからうか。

医学部の多忙な時間の中で、ボートにひたむきの情熱をかける、若い諸君のますますの発展を祈る。

長かったボート生活、大学教官生活と離れることになった今、御世話になった皆様に心から御礼を申し上げ、後任の指導教官となつていただく尾崎正若教授に、深い敬意を表しつゝ筆をおく。

〈寄稿〉

grey panther

OB会長 村 上 文 也

私も本年八月で満六十六才を迎える。今后順調にすごせても平均寿命まであと十年あまり、死に向う人生を一日一日味わい深く生きたいという心境である。

私共は戦争、戦後の食糧不足や結核をはじめとする伝染病による淘汰、急激な社会変化のストレスによる淘汰など、長年の淘汰圧に生き残ったしたたかな老人ではあるが、まもなく人口の1/4が六十五才以上の老人で占める老令化社会が到来しようとする今日、若者本位の近代社会に対してどのように身を持するか創意と工夫が必要となっている。高令者の生きがいとは今世紀に人類がはじめて直面しつつある新しい問題の一つともいえる。

米国には grey panther という政治組織がある。老人と若者の協議会で、この団体を組織したマギー・クーンはその宣言の中で、「私たちはユーモアの精神がある。私たちの目的は定年退職という思いがけないボーナスを支給された年月を、解放と自己決断の出来る新しい時代に貢献する時間として祝うことにある」と述べている。

老人保健法の改悪にみられる福祉政策の後退、とどめのない軍備拡張などの今日の政治のあり方は老人が楽しくすごせるしくみとは両立しないものであり、それをただすには老人の社会的発言が前衛として

の大きな意味を持っている。我国でも grey panther のように老人の声が若者と結びついて国にとくような行動をおこす老人の結集が待たれる。

私もユーモアを忘れず愛と思いやりに満ちた余生をすごしたいものである。

中国に旅して

薬理第二教室（新漕艇部部长）尾 崎 正 若

中国太原にある山西医学院の楊町銘教授は曾て若い頃長崎に留学し、その頃から本学薬学部で生薬を専攻の河野教授と親しい。

河野教授の取計らいで医学部に揚教授ら一行基礎、医学や薬学の教授らが訪ねて来られ、我々と懇談されたのはもう三年も前のことである。

中で赴栄端（生理）、万宝松（薬理）両教授は親しく教室にも見え実験を見学して行かれたが、我々に対して、機会を作り太原にも来て欲しいと云いおいて帰国された。勿論、その様な機会があったら大変嬉しいと卒直に気持を伝えてはあったが、実際に具体化するまでには若干の月日が流れた。

昨春、彼の地を訪れた北川教授からの伝言に、再び先方が我々の訪問を希望しているとのことであった。そこで早速実現化を図らうとは

したもの、中国政府高官から入国査証に必要書類が届くまでには結局半年程かかった。招待とは云っても、往復旅費は自弁である。両国間の経済状態の違いからやむを得ないことであらう。

いよいよ昨年十月二日（土曜）、河野教授と教室の丹羽君と私三人が同行することになり、長崎空港より成田始発上海行の日航機に便乗した。未だ見ぬ国への期待と一種の不安がよぎった。機内に入るや驚ろいたことに客席の大半は米国人で埋まっていたことである。日本の円高を嫌って中国への旅行とまめつけた面もある様だ。

僅か一時間半の飛行（長崎―名古屋に等しい）で、上海に着いた。郊外の広い舗装道路はとも角市内に入るや大変な人通りである。その上自転車は数列両側を走り、左右から狭められた間を縫う様に車は走らねばならない有様。

「街の道は人自転車群をなしおり

かまわけ進む車のクラクションかしまし」

友誼商店で日本円を中国元に交換したが、中国労働者の平均賃銀が本那円にして一万円、そこそこ云う。日本人観光客が、日本では約三万円するカシミアスウェーターが、上海では七千円程度とあって良く売っていた。終戦直後の米国と日本内関係が想い出された。

上海交通大学（国立工科大学）の宿舎（ビジネスホテル程度）に二泊し、次の日の朝七時半発の中国民航機で太原に向う筈であったが、予定は大幅に狂い太原地方の霧？とかで結局五時間空港で待たされる始末だった。こんな事も余り珍らしいことではないのか、八釜しく何時になったら出発出来るのか？太原の霧は晴れたか？などと云ってデスクに聞きに行くのはせっかちな日本人許りだった様で、彼の地の人

々は「寿然自若」としていた。

さて、五時間の遅れはあったものの、山西医学院の学生諸君は我々の到着を待っていてくれた。講堂に入るや拍手で迎えられ、熱烈歓迎である。背筋が引きしめる思いがした。旧満州医科大学卒の解剖学の韓教授が予め参考までに送ってあった私共の論文別冊の予習までされていたには恐縮した。彼の同時通訳による私の講義を学生達は静かに聞いている様子に感心したし、後で聞いたところでは一部の学生は英会話の練習もつんでいるさうで、将来行なわれるであらう国際学会発表の場では、先般のアジア、オリンピックの様宜しく、中国、韓国と日本の発表者が、公用語の英語で口演する時には、金メダルをさらって行くのは或は中国の研究発表者ではなからうかと憂いが迫ったのは今回の旅行中この時許りではなかった。

翌日は良く晴れていた。その昔、遠く日本から僧侶が修業の為に訪れたと伝えられる山奥の右剎に車で案内された。郊外に向う道を農民がてんでに自転車に野菜を乗せて走る長蛇の列が目に入った。

「行けど行けど農民野菜を運ぶ

明日の糧ありや今日の生活もあらん」

小さな部落を通り過ぎて行く間に、畝に作業をする農民の姿もちらほら、城壁の跡もあった。高粱の穂が路上に投げ出してある。通る車に踏ませて穂を落させる算段である。農民の顔がいかに日にやけている様を見るにつけても、パールバックの「大地」の物語が想い出された。

「土に生れ土にまみれし農民の

たくましくも見ゆ 高粱畝を行く」

予定では太原から空路北京に行くことになっていたが、上海から太原に向う時の番狂わせにこりた我々は、陸路行くことに変更した。四日前から出札されている急行寝台券は折悪しく国慶節の時期と一致したせいもあって、やっと入手出来たが、寸手のことに又もや番狂わせを演ずるところであった。この間揚教授の助け広ちが至る所で効を奏し、今回の旅行を通して彼には物凄くお世話になった。

文明列車と称する寝台特急は、清潔で、礼儀正しく、定時運転をモットーにしていると聞いたが、先ずはお題目通りである。硬車と軟車があつて、後車が本邦のA寝台に相当し、定員四名のコンパートメントになっていた。向い会せの上下二段ベッドがあり、窓側にはテーブルその下に大きなボトルが置いてあつて、時々サービスに「やかん」から熱湯を足していくくれるのは青い制服、帽子の女性車掌である。食堂車の夕食に向う。その昔ドイツの統治下にあつた青島にはその技術が残されていると云う、幾種かあるビールの中でも「青島 酒」が旨く、風味があつた。大陸が乾燥しているのも手伝っているらしい。多くの旅行者はホロー製のコップか、小さなボトルを用意し、各所のサービスの熱湯にお茶の葉を入れ、さめるのを待つて飲むと云う習慣が根ざしている。生水を飲用不適とする中国生活の智慧とも云うべきで、ホテルの室内にも熱湯が用意されていた。室内の水道からは一見飲めさうな水は出るが飲用には宜しくない。

旅行中の食事は本場の中華料理には違いないが、凡そ長崎で食べ馴れている代物とは異なり油こく、ぎとぎとしているものが多く、生物は皆無と云つてよく、新鮮なサラダ、やおさしみなど夢想だに出来ない。中で北京鴨は美味推薦に値する。

北京では漢方を主体として医療の教育をする中医学院の高奎乃副院長に会うことが出来たが、なかなか伝統ある中国医学に誇りと自信の持ち主と見てとれた。そもそも漢方医学は紀元前二千年來の人の疾病を対象した臨床薬理学的経験と実績、それも専ら多種の草根木皮を分類し、何種類かの生薬を混じた漢方方劑を工夫し、古來の文字の発見に裏付けられて詳細な記録として遺されている「本草綱目」「傷寒論」他の大層な資料文献は極めて貴重には違いない。

現地で聞いたところでは、皇帝の病氣の治療に当り、見事治癒した時は宜しいが、若し不成功に終ればその医師たるもの生命を絶たれたさうで、本命がけの問診・視診・触診そして「証」を定め草根木皮を組合せ煎劑を選択した様だ。

現在実験動物を用いた研究でも、漢方処方が色々な作用について改めて評価され、見直されている点は「温故知新」とも云ふべきであらう。

中国医学科学院薬物（薬物）研究所の主任教授韓鋭先生は流暢な日本語で良く整備された研究所内を案内して下さった。中国のNIHと云えようか、郊外の薬用植物資源研究所の肖培根教授の英語による説明では、目下中国全土の四万点に昇る薬用植物の成分、効用リストをコンピュータによって整理中で、バイオテクノロジーを導入して、自然栽培では薬用にするまでには、約十年を必要とする人参を四年に短縮出来たさうである。中国内には広い大陸故に未知の薬用植物、種類も豊富な資源が未だ眠っている様に思われてならなかった。申し遅れたが、太原郊外で珍らしくSL機関車がとてつもなく長く連結した貨車を引っ張っていたが露天掘りの石炭を運んでいる由か、トラック輸送な

どでもあれば、無尽蔵と云っても良い位の埋蔵量と聞くにつけても地下何千メートルまで掘り進んでいた高島炭坑は最近閉鎖されたのと対照的である。

最後に訪れた中国医学科学院基礎医学研究所の薬理教室では王教授は会議に出席中で、会えなかったが、代りに実験室を案内し、研究内容の紹介してくれたのは流暢な英語を話す若く可愛い大学院女子学生であった。楊教授と我々は彼女と晚餐を共にしたが、近い将来英語で事が足りるのでしたら日本に留学を希望していた。

「北京にて笑みたたえ来し大学院生の

まなざし涼し清き想い出口ロマン」

さて、北京で頼みの 教授と別れ、急に心細く不安が迫った。北京駅頭に見送って下さった彼が、「いやいやさう心配しなさんな、なんとなるよ」の一声に励まされて再び文明列車で、北京より上海へ二十時間の旅行、途中南京大橋を渡り、蘇州を通った。今度はコンパートメントの四名定員の一人は中年の中国紳士である。当然の事乍ら彼の読んでいた本は漢字許りが並んでいた。かなりの時間その本を読んでいた彼が、やゝ退屈したのか読書をやめ向い側に座る私と筆話を始める中に、彼は日本人を両親とし、三才の時に離別した戦災孤児である。が、彼は既に地方官吏の要職にあり、何回か日本の親を探す努力をしたものの、もう諦めているのだと云う。そんな話をした後、暫し黙した彼の眼から大粒の涙が流れているのに気付き、戦争のむごさを感じたが、偶然にも車窓からトーチカの跡らしいもつが目に入った。

「落涙の中国の人の本の

「晩の父母には会うすべ絶えたり」

十億とも云われる中国の人口、中に若人はこれから多くの先進国に文化革命時の遅れをとり戻さうと頑張り初めている。随所に友好的なまなざしに接し、日中友好を希望していると想われた。豊富な資源の保有国でもある。精々、彼の国の人々と友好に相互に交換し徒らに太平洋をはさんだ遠い国のご機嫌をうかがう許りが能でもあるまいと思うことしきりである。

△高久先生退官記念パーティー▽

昭和六十一年度も持ちまして、高久先生が御退官なされました。つきまして、昭和六十二年三月七日OB総会の後行われました、高久先生退官記念パーティーにおける、高久先生のお話しを、収録いたしました。先生の前に、参加されたOBの先生方と現キャプテンが先生の思い出を語りました。

○

高久先生のお話

皆さんこんばんは。今夜は私の退官記念ということでこんなに多くの皆様にお集りいただき本当に心から御礼を申し上げます。私が長崎にまいりましてから十八年と何ヶ月でございますが、確か私の記憶ではボート部の顧問教官になりましたのは現在のOB会長の村上会長が御退職になりましたその後だったと思うんです。十数年間だと思っております。この間お蔭様で大禍なく皆様とともにボート生活をおくることのできましたことは心から嬉しく思っている次第です。

いろいろな話が今でしたが、私は運動という以上勝たなくてはダメだというのが私の信念の一つでございまして、勝つためにはどのような努力が必要か、それから一つのステップと方法論が議論され、それに従って我々は何らかのアプローチをして、うまくいかなるときはまた考えをあらたにしてやるということが、あらゆる意味で社会生活の基本であろうと私は思うわけです。そういう意味で確かに一時はかなりいいところまでいったボート部もまたちょっとこの何年か停滞気味であるということは残念でございします。どうか皆さんひとついろんな知恵を出しあっていただいて近いうちに西医体だけでなく全医体でも優勝のチャンスをつかんでいただきたいと思うのであります。

昭和二十九年当時私は東北大を出て眼科に入り助手になったものでございます。その時期からずっと東北大医学部のボートのコーチをとめておりました。ですから長崎の方にも是非優勝していただきたいかったです。しかし条件が悪いのは練習場が遠いということと、もう一つ基本的にバックアップするに十分な先輩がまだまだ育っていないということだと思えます。私のためにこんなにお集りいただいたということは、これを機会に先輩の輪を広げますます援助をお願いしたいと思うわけでございます。

それから私が医学部の教授会で、大学のクラブには金を出してどうして医学のクラブには金を出さないかと何回も言っております。そうすると学生担当がかけあってくるんですがその時本部の人が言うにはもう少し本部のクラブに頭をつっこんでもらわないと金は出せないというらしいんです。ですから諸君も本部を乗っ取るような気持ちでやってゆけば般の一パイや二ハイは買える金が出てくるのではないかと思

います。

そんなわけでこれからも問題が多いわけですが、私の何もできなかったことについてこんどは尾崎教授がそれをおひきうけただいて、ボート部のためにお力をいただけることと大変喜んでいるわけでございます。今日は皆様大変ありがとうございました。併せて私自身もこれから佐世保にまいります。これから先もそちらでお目にかかるチャンスも多いかと存じますが、これからどうぞよろしくおねがいします。

△昭和61年度年中行事報告▽

○春合宿（3月15日～4月6日）

本年は西医体が例年より一週間も早い。この一週間はもともと夏の練習量が少ない我々にとって致命的なものとなる。そのため今年は例年より一週間長い春合宿となり、九山、九朝前にも合宿をはるということとなった。

本年のクルー編成はシエル三杯が同じレベルで競いあい、そのレベルを高めてゆこうというものであった。

なお崎陽クルーはこの期間のうち三日間、山口大学の春合宿に参加させていただいた。山大は年間2/3を合宿所で生活し、全日本学生選手権を制することを目標としている。練習も予想どおり激しいものだったがその中でも特筆すべきものとして、

バック台・エルゴメーターを使って陸上での漕ぎのチェックが活発である。

冬期から夏期にかけて長期的かつ継続的な陸トレが行なわれている。

ということがあげられる。以下その参加記を載せる。尚山口から去るとき多大なる歓待を受け一同感激した。

—— 山口大学合宿参加記 ——

崎陽整調 山 本 太 郎

昨年の3月下旬、山大に合宿参加させてもらいました。難波さん、

永山さん、今里さんが東北大の春合宿に参加して以来のことです。丹羽先生の紹介でした。

トップコックスのカーボン艇をかしってもらい監督の前川先生に指導をしていただきました。

山口大学対校の漕ぎを見ましたが、フォワードの滑らかさには驚きました。筆ではなんとも表現できませんが、すばらしく良く、これが現在の我々対校の内にも生きてくればと思います。（Common Conceptはあるのですが）

エイトにも始めて乗りましたが、フォアとは違い、オールワークが速く、水をつかむのが難しかったが、やはりボートはエイトだと思った。

陸トレは我々と違いかなりのhard workがせまっていました。ただ山大自体も独自の方法論と、漕ぎの確立はなされてないようで、そういう意味で、前回の東北大の合宿参加のように革命的な変化を我々にもたらしてはしませんでした。

去年は、九州朝日レガッタで2度、インカレの敗復で一度対戦しましたが、3度とも敗れましたので、今年はその恩返しと……。

○九山（4月27日）宮崎県富田浜千メートルコース

「クルー」

対抗ナックル	オープンシエルA	オープンシエルB
C朝長	C吉川	C田中
S山本(太)	S小野	S中島
3白藤	3山本(修)	3寺尾
2旭	2岡野	2劉
B市川	B天野	B石井

B 2 3 S C
中 鈴 南 S C
村 木 原 福 生
村 木 原 井 田

〔結果〕

対抗ナックル決勝

産医大	(3)	4'00''6
宮医	(1)	3'53''8
熊大	(4)	4'05''4
長大	(2)	3'56''4

オープンシエル決勝

長大A	(2)	3' 42'' 2
熊大龍神	(1)	3' 31'' 4
熊大阿修羅	(3)	3' 46'' 2

オープンナックル決勝

産医暁星	(4)	4'15''4
産医UOEH(2)		4'08''8
長大	(1)	4'01''2
熊大	(3)	4'10''4

「ボックス記」

対抗ナツクル決勝

またしても宮医に敗れる。これで三連敗となったが先二年と比べて、内容的に完敗である。強い順風なのでピッチを2枚上げ一氣にいこうと企てるが、練習でやっけないことを突然やっても漕げるわけがなかった。短くなり、五百メートルまでバタバタしてしまい、足蹴りで四分の一艇身までもっていったが、七百メートルでは水を明けられラスト四十本をいれども完敗。日頃やっている漕ぎをしなくては駄目と痛感した。

全体的に見渡せば、宮医科の対校の不死鳥と、熊大龍神の強さが目立った。

「クルー」

九州朝日レガッタ（5月24・25日）福岡県遠賀川漕艇場
年々、遠賀川は整備されていて、今年はスタートの設備ができていた。しかしシエル泣かせの荒波は健在でパワーのないクルーは泣かせられるところとなった。

崎陽

B 2 3 S C
白 旭 市 山 朝
藤 川 川 本 長
(太)

霧島

B 2 3 S C
天 岡 山 小 吉
野 野 本 野 川
(修)

あめんぼ

B 2 3 S C
石 劉 寺 中 田
井 劉 尾 島 中

〔結果〕（タイム不明）

ナツクルA

B 2 3 S C
生 中 南 S C
田 村 原 井 鈴
木

ナツクルB

B 2 3 S C
佐 津 南 黒 中
藤 田 木 野

シェル準決勝

崎陽（長医）	(2)
福教大	(1)
あめんぼ(長医)	(4)
阿修羅（熊医）	(3)

シェル準決勝

北斗 (熊商大)	(2)
瑠璃 (山口)	(1)
霧島 (長医)	(4)
西南大	(3)

シェル決勝

瑠璃	(1)
福教大	(5)
新日鉄	(2)
龍神	(3)
崎陽	(6)
北斗	(4)

ナックル予選

大村園芸	(1)
熊医 B	(4)
長医 A	(3)
三菱化成 A	(2)

ナックル予選

長崎大全学 B	(4)
八幡工高	(1)
長医 B	(3)
熊医 A	(2)

崎陽、決勝進出(クラブ史上初)

霧島、あめんぼ、ナックルA、準決勝進出

ナックルB、予選惜敗(一年生クルー)

〔コックス記〕

シエル決勝

逆風でスタート地点は大きな波、スタート六本、ローイング25本で龍神、北斗には一艇身、福教大には水をあげ、新日鉄、瑠璃にもリード。しかしコンスタントではバランスが悪く2、3度決れこませ、艇が止まりかける。五百メートルすぎには新日鉄、瑠璃にはリードを許し、六百メートルあたりにはビリになってしまふ。足蹴りをいれども追いつかず、ラストスパートで福教大を追いつめるも、刺せず、無念の6位。前半のコンスタントの乱れが反省点。

○

例年は準決に残るのが一クルーぐらいなので今年は上々のできといえようが、これは遠賀川コースが六レーンになったせいともいえる。しかしクラブ史上初のシエル決勝進出も果し、一つのステップにはなったであろう。熊大勢が着実にのびてきており、龍神はスタートの大失敗にもかかわらず三位となっている。長崎との差は九山のとこと比べあまり縮まっていなかった。

○県漕(六月八日)形上湾千メートルコース

例年長大祭と重なり、数々の悲劇を生んだが今年は祭の一週間後のレースだった。そのせいかかなり練習を積んだクルーがあったよ

うだ。

〔クルー〕

Aクルー

C朝長

S山本(太)

3市川

2旭

B白藤

Bクルー

C吉川

S小野(修)

3山本

2岡野

B天野

Cクルー

C田中

S劉

3石井

2中島

B寺尾

Dクルー

C鈴木

S福井

3南

2黒木

B南原

Eクルー

C中村

S津田

3本田

2佐藤

B中野

〔結果〕(タイム不明)

予選

長大全学A

(1)

海自大村B

(3)

佐工専C

(2)

長医E

(4)

予選

海自大村A

(2)

佐工専B

(1)

長医D

(3)

全学E

(4)

準決勝

全学A

(2)

医学B

(1)

佐工専B

(4)

佐工専D

(5)

医学C

(3)

決勝

医学B

(2)

全学A

(1)

佐工専C

(3)

医学A

(4)

Aクルー

4位

Cクルー

準決勝進出

Bクルー

準優勝

D、Eクルー

予選敗退

〔コックス記〕

決勝（Aクルー）

スタートで置いていかれ、前半ほとんど足蹴りばかり入れるが効かず練習よりも一・二枚高い三十二・五枚で漕いでしまいいつという間に負け。

○

ここでもまた全学に敗れてしまった。昨年県内無敵だったクルーが引退したかに思われたのに今年になって九朝でナックル優勝という派手なカムバックをとげ、県漕もかつさっていった。一度引退したクルーに敗れるとは情けない。Bクルーの健闘を除くと、他のクルーは生彩を欠いており、九朝を終え気が抜けていたようだった。

○西医体（七月三十・三十一日）滋賀県立琵琶湖漕艇場

学四の青木先輩まで借り出し、総力戦で向かった。正念場の試験期間中、霧島はバーベルを使いパワーの維持、みずすましは朝や試験の直後などひまを見つけては全員でトレーニング。また教養生は恒例の教養合宿を二週間行い、また夏合宿も7月十日から単独で入った。さて、結果はどうなったであろう。

〔クルー〕

崎陽	霧島	みずすまし
C朝長	C中村	C田中
S山本(太)	S吉川	S中島
3市川	3山本(修)	3寺尾
2旭	2岡野	2劉
B白藤	B天野	B石井

ナックルA

C鈴木	3南	2黒木	B南原
-----	----	-----	-----

ナックルB

C生田	3青木	2佐藤	B津田
-----	-----	-----	-----

〔結果〕

シェル二次敗復

不死鳥（宮医）	(1)	3'28"3
霧島	(5)	3'37"2
天馬（岡山）	(2)	3'29"3
みずすまし	(3)	3'30"2
京都B	(6)	4'12"9
崎陽	(4)	3'30"6

シェル準決勝

京府医	(3)	3'26"6
京都A	(4)	3'28"3
海王（鳥取）	(2)	3'24"5
滋賀A	(1)	3'22"7
霞（広島）	(5)	3'30"5
みずすまし	(6)	3'33"1

ナックル二次予選

琉球	(5)	4'06"4
和歌山B	(3)	4'03"3
ゆうなみ（岡山）	(1)	3'53"7
福岡B	(2)	4'00"0
鳥取A	(4)	4'04"8
長崎B	(6)	4'15"1

ナックル二次予選

宮崎A	(5)	4'08"8
大阪B	(2)	3'56"9
滋賀A	(1)	3'54"9
産業医A	(3)	3'57"4
長崎A	(4)	3'58"1
大阪D	(6)	4'10"2

崎陽、霧島 予選敗退

みずすまし 準決勝進出

ナックルA、Bとも予選退

シングルスカル生田、鈴木 予選退

(付) ナックル決勝

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 滋賀 A | (6) 3' 55" 9 |
| 2 産業医 A | (4) 3' 54" 5 |
| 3 岡山(ゆうなみ)(1) | 3' 49" 8 |
| 4 岡山(大瀬戸)(2) | 3' 50" 6 |
| 5 広島(竜王) | (5) 3' 55" 2 |
| 6 熊本 A | (3) 3' 52" 4 |

(付) ナックル準決勝

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 福岡 B | (5) 4' 03" 9 |
| 2 広島(竜王) | (2) 3' 53" 9 |
| 3 岡山(大瀬戸)(1) | 3' 52" 8 |
| 4 大阪 B | (4) 3' 57" 0 |
| 5 熊本 A | (3) 3' 55" 7 |
| 6 和歌山 B | (6) 4' 11" 4 |

(付) シェル準決勝

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 岡山(天馬) | (6) 3' 42" 1 |
| 2 岡山(疾風) | (3) 3' 28" 5 |
| 3 熊本(龍神) | (1) 3' 23" 0 |
| 4 滋賀 B | (2) 3' 27" 6 |
| 5 宮崎(不死鳥) | (5) 3' 32" 2 |
| 6 熊本(阿修羅) | (4) 3' 32" 1 |

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 岡山(旭) | (6) 4' 00" 9 |
| 2 産業医 A | (2) 3' 53" 8 |
| 3 岡山(ゆうなみ)(1) | 3' 52" 5 |
| 4 滋賀 A | (3) 3' 54" 7 |
| 5 大阪 A | (4) 3' 56" 3 |
| 6 金沢(川弓) | (5) 4' 00" 6 |

(付) シェル決勝

- | | |
|----------|--------------|
| 1 滋賀 B | (5) 3' 23" 4 |
| 2 鳥取(海王) | (3) 3' 21" 1 |
| 3 滋賀 A | (4) 3' 21" 9 |
| 4 熊本(龍神) | (1) 3' 17" 2 |
| 5 京府医大 | (6) 3' 27" 3 |
| 6 岡山(疾風) | (2) 3' 19" 0 |

〔コックス記〕

二次敗復(崎陽)

奇しくも長大勢三杯が揃うスタートでは三艇がカンバスだけ飛びだし、みずすましがコンスタントに移るときにはトップで、前半で霧島と、京都 B が追ち、他の 4 艇のダンゴレースとなる。五百 m 過ぎで天馬がみずすましに一艇身リードそしてそのみずすましに半艇身差で崎陽、一レーンの不死鳥は六レーンからは見えなかった。ラストは三十本、最初の十本でバランスをとり直し、次の十本でみずすましに並んだかと思われたが最後の十本でバランスをくずし、ラストで刺せず 4 着、準決勝進出ならず、みずすましに希望を託す。

○

他の大学のクルーは夏かなりハイレベルに達しているのに、うちはせいぜい九朝から数歩の前進しかなかったといえよう。(崎陽は敗れたことのない阿修羅にも敗れた) 試験期間中の練習量は限りがある。それをどう克服してゆけばいいのだろうか。詳しいことは雑感の中で先輩方が述べているのでさけるが、簡単に考えて見たい。

。千 m のレース中心の練習ではスピード持久力の養成ができない。カール・アダムいわく、「クルーが自分達にできるよりも、より速く漕げた時にのみ立派なレースを勝ちとる。」レース距離をレースピッチで漕ぐと、慣れてしまい、限界までがんばれなくなってしまう。もっと練習内容を充実さすべきだ。

。なんといっても夏週二回程度の練習では力は落ちるばかりであ

ろう。週四回は練習してこそ、意味がでてくるのではないか。試験期間中休んで試合で負けたからといって悔しがっても笑止千万である。

。ナックルBにおいては夏の練習の成果がでたと思われるがナックルAは駄目だった。これはナックルAには指導者がいなかったせいである。クルー内に指導的立場の人間も置くべきだった。のびざかりの若年の指導こそ最も大事なことであろう。

。やはり対校クルーを作らないと西医体は勝てない。ハンディーをしょっている以上、総花的な考えではクラブとして負けてしまう。

。冬期せつかくつった体力もシーズンが始まったとたんトレーニングを止めてしまつては意味がない。時間がなくても、維持するだけの陸トレはしなければいけない。またそれに冬期陸トレの絶体量も少ない。スクワット百キロで十回やれるくらいのトレーニングはすべきではないか。

。他の大学と比べ長崎はキャッチの部分とフィニッシュの部分はどうしても弱いのではないか。それは無理に前にでて、大きなバックをとるせいではないか。特に戸田でそのことを痛感した。無駄のない強いストロークでピッチを上げてゆくのが常識的な考えではないか。

反省は色々あると思うが、それをいかに生かすかが大事なことである。今度こそは勝ちたいものだ。

○全日本大学選手権（八月二十一～二十四日）

戸田オリンピックコース（二千メートル）

〔クルー〕

崎陽クルー

C朝長

S山本（太）

3市川

2旭

B白藤

〔結果〕

予 選			500m	1000m	1500m	2000m
1	長崎大(医)キヨウ	6	1'52"51	3'50"80	5'51"73	7'49"29
2	新潟大	4	'44"08	'35"02	'30"10	'24"55
3	静岡大	5	'46"53	'39"19	'34"59	'25"50
4	東海大	1	'37"35	'24"21	'15"89	'01"85
5	早稲田大(理工)	3	'46"79	'38"30	'31"61	'23"22
6	愛媛大	2	'45"61	'36"51	'26"98	'16"74
敗 復			500m	1000m	1500m	2000m
1	熊本大	4	1'53"26	3'50"48	5'51"56	7'51"16
2	静岡大	3	'46"62	'41"36	'37"69	'32"11
3	山口大	2	'50"99	'45"38	'41"82	'31"82
4	愛媛大	1	'50"59	'43"18	'38"20	'31"00
5	中央大	5	'53"01	'52"18	'54"44	'52"11
6	長崎大(医)	6	'56"70	'58"65	6'03"68	8'05"03

戸田でのインカレ参加を三年前の漕魂第九号・学Ⅰ中島寅彦著・戸田遠征記を参考にして報告することにします。

引用——また例によって起きて漕いで食べて寝る、というおなじみワンパターンの生活が始まった。練習回数は日に二回で、子々川の合宿に比べるとまだ楽だが……中略……食事は朝、昼が弁当屋から届けられる日替り弁当で、夜は外で食べる。今回の合宿中で一番多く利用したのは「おけさ」という定食屋である。——

ところある。我々も基本的に朝・夕の二回練習であり、食事は朝、弁当屋からの弁当を頼んでみたが、あまりのまずさに、この弁当を次回から頼むことはなかった。但し、新潟大学や福島大学などは朝・昼・夜とこの弁当を食べていた。(夕食は、冷えたカツカレーなどほとんど悲惨なものだった。)

この弁当は次回からの再考の余地ありだろう。

二年前には東京にいらつしやる先輩は田中精一先輩と、井上健一郎先輩でしたが、井上先輩は現在は長崎に帰って来ておられ、その後今里先輩日高先輩が上京しており、お世話になりました。八月八日から東京での練習を始めたが始め共同艇庫が利用できず今里先輩のマンション(これは八王子にあるのですが)から戸田まで通って練習しました。初日は奥さんの手料理で歓待していただきました。

田中先輩と、日高先輩には試合終了後飲み連れに連れていってもら

いましたがこれは後述することにしめよう。

ここで軽く戸田という場所について書いてみましょう。賢明なる読者は二年程の間にそんなにも戸田がかわってしまったのだろうかと思われるでしょう。ここを引用と文章でつづってみよう。

引用——東京駅から京浜東北線に乗り換え赤羽駅下車、バスに揺られること約40分で我々は、戸田ボートコースに到着した。……中略……、ひとまず落ちつくためにこれから寝泊まりしていく、オリンピックの時に外人選手のためにつくられたという共同合宿所に入った。薄い壁一枚だけで隔てられた区画がいくつも並んでいて、その区画ごとに各地のクルーが入居しているのである。うさぎ小屋というより、ミツバチ小屋といった感じである。——

しかし現在では戸田へは国鉄最後の新線といわれている埼京線にのって新宿から20分、戸田公園駅で下車、徒歩5分というところである。従って新宿まで遊びにくのにも便利な、場所なのである。

また共同艇庫は老朽化が激しく、消防署からの警告によりその使用が中止されることになっており、今後のインカレ参加に際して、大きな問題を残すことになるだろう。

試合前には日高先輩、中島・寺尾・田中の三名が応援として来てくれたが、彼らは試合前日、我々が九時頃就寝した後、日高先輩に連れられて焼鳥を食べに行っていたのである。

しかし試合、及び練習の応援はうれしく、在京の部員はやはり

一度・二度は顔をみせるべきであろう。

二年前は、自艇参加でしたが、今回は東京大学「凌雲」という艇を貸りての参加でした。この艇は1966年進水という生まれて20年のシェルフォアで、いたるところに不備があり、また重く、ナツクルとシェルの合いの子のような船で、coxの朝長さんの、「オイは東大のシェルの修理に来たんじゃなかとばい」と言った言葉が印象的でした。やはり参加は自艇で行なうべきでしょう。（金銭的な問題もありましょうが……。）

試合当日は天気よく、しかしちよっぴり夏は去ったかなというような、青く澄んだ空が広がっていました。起床は六時、軽い上艇の後、最初の試合は十時だ。不安と、やる気が入り乱れて体が重くなる。初の二千mの試合はさすがに恐怖だった。試合経過は別項を見てください。

戸田遠征記——番外編——

ぼくの同級のS君は今年で大学4年目であったが、作家・渡辺淳一を知らなく必死で皆んなに聞いてまわっていた。が最近彼の本を読み、えらく感動したそうだ。なお、彼はその後の合宿中にも言動が常に話題の中心となり、ついにその存在は、なくてはならないものになっていったのだった。後輩田中を連れて、それが東京の流行と信んじてお尻のポケットを財布でふくらませ、ちょっとセクシーなお尻を左右前後に、振りながら、「宿」に行っていく

るといって原宿へいったのだった。話を後できくと彼は「キディランド」という乙女チックなおもちゃ屋さんへ行き、猫キックを買い、長崎へ持ち帰った由。

彼は自動車で東京へ来ていました。実家は広島で一人で帰るにはさみしすぎます。始め後輩のIと一緒に帰る予定だったのがIが飛行機で帰ることにしたため、ぼくにその役がまわって来たのだが、前日合宿所から逃げ出し、その後合宿所へ帰らず帰広したぼくはその後長くS君にうらまれることになったのだったがもとほしと言えば、旭が悪いのだった。二人は二年前に一度、車で東京まで一緒に旅行した経験があったのだがS君は、東京に着くや否や、旭を車からおろし、泊まる場所もない旭をおきざりにしたそうだが、その時のうらみをはらしたのだろうか？

試合当日には日高先輩が応援に来てくださって夜、田中先輩、日高先輩に東京の夜を満喫させていただきました。

——打ち上げ編——

夕方五時近くに新宿へ出ぼつした日高先輩と勇姿8人はまず民芸居酒屋のようなところへ入って行ったのです。まずはビールで乾杯し、一気飲みを二度、三度、場は盛り上がっていったのです。

次いで女子医大前のスナックで田中先輩におごってもらい歌いまくったのです。

その後再度新宿へ戻ることになり、田舎っぺがよく利用する新

宿アルタ前で待ち合わせをしタクシーに分乗したのです。しかし、日高先輩と同行した一行は、ぼく達が乗ったタクシーを待たず、女性を求めて消えかけていたのです。

危い所で気付いたばかりは、すばやい動作で全員にそれを知らせ、事なきを得たのです。が以後は、過激度も度を加え、東京が長崎かわからない、つまり、ボート部飲みに落ちいったのです。日高先輩も学生時代に戻ったような、楽しみようでした。

以上、来年度はまた再び戸田へ行きたいものです。よろしく
お願いします。

○宮城杯（10月19日）大村市東浦湾千メートルコース

〔クルー〕

Aクルー
C寺尾
S劉
3山本（修）
2山本（太）
B市川

Bクルー
C田中
S旭
3南原
2福井
B白藤

Cクルー
C中野
S中村
3生田
2吉川
B南

Dクルー
C天野
S黒木
3佐藤
2小野
B鈴木

〔結果〕

予選			
漕友会	(2)	4'10"70	
工専B	(1)	3'59"34	
園漕会	×	3'57"29	
医学D	(3)	4'15"30	
海自大村	(4)	4'26"24	

決勝			
佐工専C	(4)	4'10"53	
医学B	(2)	3'56"56	
佐工専B	(3)	3'59"27	
医学A	(1)	3'52"23	

準決			
工専C	(2)	4'04"59	
工専B	(1)	4'02"16	
医学C	(3)	4'06"75	
全学B	(4)	4'11"67	

Aクルー 優勝
（5年ぶり3回目）
Bクルー 準優勝
Cクルー 準決勝進出
Dクルー 予選敗退

〔コックス記〕

宮城杯 Aクルー

予戦 スタートは悪く3位。コンスタントで出て、蛇行しながら、ラストを入れずに1位。

準決 予選同様のレース。ラスト入れずにBクルーと並んでゴール。

決勝 スタートで出遅くれ、ピッチ32で追いかけるが、700m

でBクルーに次いで2位。ラストスパート50本、ピッチ35で、一艇身差で一位。久々の優勝であるが、多くの課題を残したレースであった。

○

新しいシーズンに入り、一年ぶりに対校を組み初戦であった。ふたをあげれば久びさの一、二位独占、去年の反省が生きてきている。

○熊大対抗戦(十一月二日) 熊本市江津湖九百メートルコース

〔クルー〕

Aクルー		Bクルー		Cクルー		Dクルー	
C寺尾	S山本(太)	C田中	S旭	C中野	S黒木	C天野	S黒木
3山本(修)	2劉	3南原	2福井	3生田	2吉川	3佐藤	2小野
2市川	B白藤	B南	B鈴木				

〔結果〕

対抗戦	長崎	(1)	3'14"6
	熊本	(2)	3'21"0
Aクルー		優勝 (2年ぶり)	

オープン戦

B、C、Dクルーとも負け

〔コックス記〕

熊長戦 Aクルー

フライングしてしまうがレースは成立。熊大の方、申し分けありませんでした。ローイングピッチ40、スパートピッチ38、コンスタントピッチ36↓34、除々に差を広げるが、ラストがのびず、2艇身半の差でゴール。キャッチでよく水をつかんだ良い漕ぎであった。

○

Aクルーに限って言えば順調な滑り出しであった。しかし好事魔多し、慢心せぬようがんばってもらいたい。

○子々川忘年会(十二月二十一日)

子々川を管理されていた前川さんの奥さんに不幸があり、今夏から佐藤さんというおじさんが新しい管理人としてやってこられた。

佐藤おじさんの呼びかけで子々川郷の人々、長大学生部の学生部長、学生課長、子々川を使うサークルの代表たちが集まり、子々川で忘年会が行れた。このとき、以下のことが雰囲気としてあった。

- 。ランニングのとき靴を覆け、道いっぱいになるな。
- 。陸上、海上であつたら、あいさつぐらいかわそう。
- 。艇庫周辺、合宿所の縁側は外から見えるからきれいに。
- 。海上にでるときにはしっかり目印しの灯をつけよ。
- 。酔って泳ぐな。

なごやかな雰囲気では進んだ。地元の人々ともっと親密に接触すれば、練習の制限も緩和され、何よりも気持ちよく練習できるだろう。

〈卒業にあたって〉

気分は……。 (我思う、ゆえに……。)

M 4 青 木 幹 弘

- 1 もっと練習してクラブの成績を上げたかった。
- 2 せめて高久先生の退官までに西医体で優勝したかった。
- 3 もっと後輩の連中を飲みにつれていくべきだったろうか。(いやいや、奴等はつげ上がるだけだ。)
- 4 もう少しお金のかかった記念品がほしかった。(何年前からこんな安っぽいのになったのだろう。)
- 5 もっと勉強すればよかった。(基礎の成績は、良が2つで残りは全部〃可〃だった。絵に描いたような低空飛行である。)
- 6 もっとよく考えながら漕ぐべきだった。(自分が教えられる時に、あまり考えなかったため、教える立場になって苦労した。)
- 7 現役時代にはボートは楽しめない。(今年の西医体は、最悪の成績だったけれど、漕いでいてなかなか楽しかった。)
- 8 M1の連中はクラブを一生懸命やっている様だが、試験に対する備えはやっているのだろうか。留年は是非とも避けてほしいものだ。
- 9 某K君は勉強しているのだろうか。英会話や猫の生態分析の講座は、医学部にはないのである。更に、ボート部だから留年するとう訳ではないことを親に説明してもらいたい。完全に誤解していた様だ。

- 10 教養3年生の某I君も勉強したのだろうか。教養で2回も留年すると笑いごとではないのである。
- 11 退部すると言った同級生をひきとめるべきだった。(まさかひとりになるとは思わなかった。)
- 12 カノジョを作る努力をすべきだった。総じて努力が足りなかったと言える。

- ボート部に入って悪かったこと。
- 1 色々な事(練習、雑用、試合etc)で時間をとられた。
- 2 出来の悪い後輩ばかり入ってきた。(一部を除く)
- 3 法外な部費を払われた。(利子がつかなかったのが唯一の救い。)
- 4 ふとった。(一既にボートの為とは言い難い。)
- 5 同級生が全部いなくなったので勉強がやりにくかった。(情報集収能力が低下した。)
- ボート部に入ってよかったこと。
- 1 偉い先生と気軽に話しをしてもらった。
- 2 先輩に、さんざん無料飲食させてもらった。
- 3 村上ゼミに行けた。
- 4 体力や根気がついた。
- 5 九州以外の所に行けた。(ボートの試合以外では、いまだ本州に渡った事はない。)
- 6 他の大学に友人ができた。
- 7 入局や、試験に対する情報を入手できた。
- 8 やさしい先輩とかわいい(?)後輩に恵まれた。

9 雑用のやり方（宴会場の予約、広告のとり方、予算の作成 etc）を覚えた。

10 ポートを知ることができた。

なにせ、国試を控えて多忙なので支離滅裂な文章になりました。国試へ、そして更にその先を目ざして努力しますので、今後とも宜しく願います。最後になりましたが、お世話になった諸先輩方や後輩の諸君へ、心から感謝いたします。

蛇足ではありますが、頁が余ったので後輩の諸君へ。良い成績を上げてもらうのも嬉しいのですが、そのための努力をする姿こそ尊いものだと私は信じます。稀に努力が形となって現れないこともあります。が、常に（練習でも）ベストを尽して頑張ってください。

付、先輩が、「今度の試験は、試験監督をしに行くからまかせとけ。」と言っても、あまり信用しない方が良いと思います。私は卒業試験で2度裏切られました。更にカンニングは絶対にしてはいけません。（当りまえの事です。）我々の学年でカンニングで卒業した人がいます。また、卒業できても同級生は皆知っていますから、嫌われる上に陰口をたたかれるのがオチです。陰口は噂になって広まるので、後々身の狭い思いをします。

「今年目標」

学 IV 石 井 久 敬

先週の地震には驚いた。何しろ壁はきしみ、戸は鳴り、棚からはビデオテープがなだれ落ちるのだから。自分にとって初体験の揺れ方、これは震度4は固い、もしかすると5か。すぐ観たテレビの地震速報にはもっと驚いた。五年も住んだがこのアパート、そろそろ出る時期のようだ。

地震の程度はさておき、動揺して頭が白くなりかけた事だけは確かだ。考えてみれば情けない。度胸が無いのは承知していたが、ここまでは小心だったとは。反省の意も込めて一月程前に読んだ小説の一句を書き出す。

「武士たるものいつも明日に死を控え、このことを覚悟して今日を生くるべし。」

この気持ちでこそ、主君への忠誠、文武の修得、庶民の模範等、侍の責務を日々果たせ、また心から酒、女を楽しむ等、日々を楽しめるということか。要するに腹を据えて生きぬ限り立派な武士になれぬし、人生を楽しめないということだろう。

自分の過去を振り返るとこれのアンチテーゼを地でやってきたようなものだ。酒、よろしくない趣味、惰眠に費やすのみの日々で、明日は明日の風が吹くのおよそ目的意識、緊張感の無い生活。日々を真剣

に生きるなんて程遠い心境である。

それでは、よし、これまでの恥のかき通し、後悔のし通しの過去を過去にする為にも、今年の目標はこの武士の心構えだ。以上終り、といきたいが、よく考えればこの目標は難しい。あさってにも忘れて遊び回りそうだ。ならば来年に国試も控えているし、よりわかり易く「日々是決戦。」しかしこれでは予備校時代を思い出して情けなくなる。さらにもっとよく考えてみればこういう気持ち自体が自分には無理のようないきがしてきた。

今年の目標は「熟考」

こう言った後で無責任ですし、とってつけたようですが、漕艇部現役部員の皆さんは、「日々是決戦。」この気持ちでこれからの練習に取り組んで欲しい。昨秋の成績、タイムからみて西医体はおるか全医体の優勝も十分狙えるレベルにあると信ずる、また自分の五年間の反省からも。

先シーズン考えたこと

学四 岡 野 邦 彦

学年が上になるにつれ、考え悩む内容が自分の漕ぎのことからクラブ全体のこと、クルーのことへと移ってくる。特に先シーズンは、自分が最高学年となりクルーをひっぱってゆかねばならない立場になったせいもあって、いろいろ考え悩むことが多かった。今回は、クラブの皆もとにも考えていただきたいことをの中から選んで書いてゆこうと思う。

① コックスについて

私はこの五年間で、バウ、二番、三番、整調、コックス、をやらせていただいた。やってないことと言えば、シングルスカルで試合に出ることぐらいなものである。これらをやってきて、コックスは一番難しいポジションではないかと思う。試合の時は駆け引きを考えねばならない。真っすぐ引かねばならない。普段は、漕手の漕ぎを注意できる知識と能力を身につけておかねばならない。艇の整備に神経を使わねばならない。私の理想は、コックスは学Ⅲで固めてしまうことである。しかし、先シーズンのクルー決定の時にも、もめたのであるが、学Ⅱ、学Ⅲの主力メンバーをコックスにしてしまうと艇速が落ちてしまう。その意見も確かに正しい。だが、この難しいポジションをボートというものがまだよくわかっていない教養生がやるのはいかなものだろうか。また、ボート部に入ってくるからには皆、大学時代に少しでも体を作って汗を流したいという気持ちも少なからずあるはずである。コックスは学部生がやる。これが私の意見である。

② デルタかクワノか

現在日本にある大きなボートの会社は、私の知る限りでは、デルタ、クワノ、そしてヤマハの三つである。我クラブは近年主としてデルタと取り引きをしている。しかし、会社数が少なく競走も激しくないためか、最近の手抜きぶりは目にあまるものがある。先シーズン、マコンを四本注文したが、三回しか漕がないうちに三本が折れてしまった。早速送り返し、無料で修理してもらった。しかし、

そのため一クルーは全学さんのオールを借りて西医体へ出場するはめになった。西医体で話をしてみると、熊大でもそういうことがあったらしい。全学のオールはクワノである。二つを比較してみると、どうもオールに関してはクワノの方が作りが丁寧で長持ちするように思える。次回はクワノから購入してみてはいかがなものだろうか。

③ セミマコン・マコン・スプーンについて

私は先シーズン・セミマコン・マコン・スプーンの3種類のオールを使わせていただいた。スプーンは我クラブにないので、全学さんより借りた。これらのオールを使ってみて、後者ほどパワーはいるが、ある程度力さえつければ水はよくつかめるし、バランスがとりやすいことがわかった。どうもセミマコンはブレードが長すぎて、先10cmが無駄な気さえする。今回の西医体で各大学のクルーのオールを観察してみると、半数以上がスプーン。セミマコンは私が見る限り我大学だけであった。(ちなみに、今回西医体優勝の熊本大学はマコン、前回優勝の滋賀医大はスプーンであった。)よく研究した上でスプーン購入を検討する必要がある。

④ データを残す。

先シーズン、過去の部誌をひもといた一番多い目的は、過去の先輩達がいかなる練習をしてきたのか、を知ることであった。そこで気づいたことは、練習に対する方法や感想を個人的に述べている文はあるが、クラブ全体としての年間練習計画・方法・タイム・練習日数などが書かれていないことである。冬場、シーズン中の陸トレは陸トレ係。海上での練習内容はAクルーのックスまたはキャプテンが記し、クラブの報告として部誌の巻頭に載せる必要がある。

これは寄付を頂いている先生方に対する我々の義務であるし、先輩として後輩のために残してゆかねばならないことのひとつと考えるからである。

⑤ Aクルーの編成そして来季のAクルーへ

先シーズンの始め、クルーを決めるにあたり、A・B・Cクルーを同じ強さになるように組んだ。これはA・B・Cが互いにしのぎを削って、クラブ全体の力を上げようというねらいからであった。そして、来シーズンは、このA・B・Cで鍛えられた有望な人間を選んでAクルーを組めば強いAクルーができるのではないかという長期の展望にたったものだった。このため先シーズンは朝日レガッタではシェルが準決へ三艇(うち決勝へ一艇)県漕では決勝へ二艇進出したが、クラブの対抗の成績をみると、優勝は一回もなく、決して芳しいものではなかった。しかし、このA・B・Cより選ばれた人間で構成された今季のAクルー(個人的都合により今春より一人メンバーが代わるが)は宮城杯で優勝。熊長戦では昨年西医体優勝の熊大クルーを抑え、さい先のよいスタートをきっている。

Aクルーに入る人間を決定するにあたってはまず何を優先させるべきであろうか。私はまず最初に練習に十分な時間を割くことができるやる気のある人間であることを挙げたい。前西武監督の広岡達郎がこう言っている。「プロ野球ではえてして才能のある人間は練習をしない。やや劣る人間はコツコツ努力して練習をする。しかし、プレーをさせると才能のあるやつの方が上である。監督をやっている二人をいかに使うか、これが一番頭を痛めるところであり、監督の手腕が問われるところだと思う。」ボートに関しても同じよ

うな傾向がある。体が大きく力がある人間に限って練習嫌いなことが多い。部室でバーベルを一人でもくもくと挙げているのはたいがい力のない人間である。力があって練習する人間、これは文句なくAクルーである。しかし、部員数30名弱の我クラブではこういう人間が5人そろふことはまず考えられない。その時はこの努力型のやる気ある人間を選んだ方がよいと思う。週四回の定期練習のみならず、なんということもないだろう。しかし、内容がハードになり、練習に裂かれる時間が長くなると、必ずクルーのどこかにひづみが生じてくる。そしてそのひづみに耐えてゆくのが「やる気」だと思うからである。

今回のAクルーはその点今のところは、ハードな練習をきちんとこなしているようである。ただ、不安な点が3つある。①、が学部が上がって解剖が始まった後も練習と両立してゆけるか。②西医体前の一学期末試験中にいかに力を落とさず練習できるか(他校は二学期制なのでこの時期に力をつける。)③シーズン中、体に故障をきたすことがないかということ、の3点である。①に関しては、試験なんかどうでもいいからボートにすべてをかけるなどと言う気はもうとうない。ボートに時間をさかれる分、先輩からのアドバイス、資料の活用などによる能率の良い勉強法でカバーしてもらいたい。相談があれば最大限の助力を私なりにしたいと思います。②はやはり、普段から勉強をしておいて試験中も週2回できれば週3回乗艇すること。そして、できれば朝日レガッタまでにある程度クルーの、状態を仕上げて試験終了までそれを維持する形にもってゆくことである。③について、市川、旭は腰、劉は膝を痛めやす

い体質とみうけられる。練習の前後のストレッチ、自分の弱い部分の周囲の筋肉の強化などを、普段から重点的におこなう必要がある。これも相談してもらえば方法はいくらでも教えます。「継続は力なり」続けることは難しいが、それを成し遂げた時、それは必ず力になる。前述べた不安材料を克服した上で力強い意志とやる気があればそれは可能です。将来ボートで飯食うわけでもないのにそこまでせんでもいいだろうという冷めた目を一人が持つとクルーの熱気は途端に冷めてゆきます。五人とも今シーズンは星飛雄馬になって下さい。そして練習後五人で星を見つめる時、勝利の女神は必ずや微笑んでくれることでしょう。

ボート部員と音楽

学四 中 島 寅 彦

先日故郷へ久し振りに帰省した折に、クラシックの音楽会に行く機会があった。音楽会といっても大編成のオーケストラによるそれではなく、第一バイオリン・第二バイオリン・ヴィオラ・チェロの四人で編成されたアンサンブルで、それに一人メゾソプラノの歌手が加わっていた。日頃クラシック音楽にそれほど興味があるというわけではなく、クラシックをどうせ聴くならやっぱり迫力のある大オーケストラがいいななどと考えながらモーツァルトのアンサンブル曲に耳を傾けていたが、実によく五人の息があって流れるような旋律で名曲を奏で、歌っていた。少数数だからこそ一人のミスでも大きく全体に影響いてくるわけだ。

五人の調和がぴったりあう、などという文句のあとにはだいたいどういう文章が続いてゆくかは漕魂というこの雑誌を読む人たちには大方想像がついてしまふだろうが、シエルフォアを漕ぐ場合、四人の漕手とコックスを合わせた五人が心の中に一つの楽譜のようなものをもって、一つのメロディーをオールによって水の上で奏でてその余韻としてきれいな軌跡を残すことに譬えられると思う。水の上を滑るようにバランスよく進む艇は岸から見てもどこことなく何らかの流暢なメロディーを感じさせる。一方、両舷のオールでスプラッシュをあげながら、はげしいローリングとともに進む艇からチンドン屋的な音しか思い浮かばない。

ボート競技から頭に思いうかぶ音楽というのはどんなものがあるだろうか。映画では、「追憶」や「いちご白書」等でボートのシーンがでてきて、イメージとしてそれからの映画音楽とボートが重なる。実際のオアズマンにとってのボートのイメージは音楽にするとそんな流暢なものでなく、ロッキーマのテーマのような心と体が燃えあがるような旋律かもしれない。

僕自身の頭の中には、何故か毎年の夏合宿の頃によく聴いていた曲がそのままボートのイメージになっている。

教1；この夏の音楽はとにかく松田聖子につきる。この夏にでた「pineapple」というアルバムは10回以上合宿中に聴いた。

教2；やはりサザンオールスターズだったであろうか。

学1；誰かが河合夕子のテープを合宿にもってきていて、やたらとその印象がつよい。

学2；マドンナはよくきいていた。

学3；昨年の夏も合宿中はマドンナをきいていた。

同じボート部員の中でも音楽の趣味はさまざまである。クラシックをよくきいている者もいれば、FMより歌謡曲ばかり録音してテープをつくる者、ギンギンのハードロックをいまだにこよなく愛する者などさまざまである。好みの違いはあるにしろ、全く音楽に対して興味をもっていない者はいない。

ボート競技は勿論、芸術であるとはいえない。勝者がいて敗者がいる厳しいスポーツの世界なのだ。先日高久教授もおっしゃっていたが、スポーツたるもの勝たなければ面白くない。特にボートは、（僕はそうは思わぬが）やってもきついだけだし、見ても面白味がないという人も多いので、いよいよ勝ってから初めて面白いものなのだ。

文章の内容に一貫性がなくなってきたが、クルーごとにそれぞれのコックスという指揮者のもとで一つの楽譜にそって、又、クラブ全体として天野という指揮者のもとで一つの大きな楽譜にそって、西医体初優勝という一大交響曲を今夏はつくりあげよう。

「雑感」

M 4 朝 長 道 生

(1) 1000mコースについて

せっかくタイムをとって、残していても同じコースで一様にひかないと無意味。ゴールは、前島と子々川側の丁度中央あたりである。coxは決して前島寄りにひかないように。coxは、どんなに暗くても、他のクルーとセットしたレースをしていても、まっすぐにひいてい

るという自覚とプライドをもっていて欲しい。
。あと 200 m、400 m のところにも、オールを 2 本ずつたてれば完成。200 m
400 m のタイムまで必要とは思わないが、漕手に各々通過したことを言
えるだけでも価値あると思う。

(2) 定常メニューについて

子々川↓電線 (up、ペア漕ぎ) + 電線↓子々川 (long) + 1000 m || 定
常メニューこれを基本として、+αを加えていった。

。1000 m 以外にも、long のコースとして

子々川↑電線を他のクルーも多用して欲しい。同じ long を漕ぐにし
ても、時間で決めるより距離を一定して、タイムを測った方が、ク
ルーの実力が上がってくるのがよくわかる。うねりが大きく、かつ
周囲の景色の動きの少ない子々川↑黒島は、マンネリを防ぐために
漕がせたことがあるだけである。もちろん、long はタイムを縮める
ために漕ぐのではなく、整漕のためなのだから pitch はなるべく一
定に。タイムにとらわれず丁寧に。

。子々川↑電線、そこを定常コースとして、特にシーズン途中で網が
張られて大きく外回りすることになったので、他にもコースとして
良いところがあれば、どしどしタイムを残して欲しい。

(3) 練習について

シーズンを通して、クルー内でできた話を列挙しておく。

。学 1 の解剖実習の都合があり、3 回/W の乗艇に 1 回陸トレ。他の
クルーに比べ練習日が少なかったと思うが、雨や他の都合で練習が
つぶれれば、必ず翌日の早朝 or 曜日に練習し、乗艇 3 回/W だけ
は守った。

。夏合宿前のテスト中の練習日は、土曜日を入れて 2 回/W。
。練習日以外の自主トレ (陸トレ) については、全く強制しない。各
自の自主性にまかせた。

。ペア漕ぎで、艇固定のペアがブレードを上げた状態で LP させると、
非常に良い balance 練習となる || 「なしペア」

。目標とするレースは、朝日レガッタと西医体のシエルのレース。目
安としては、コンスタントピッチで、朝日レガッタで 31、西医体で
33 としていたが、後者は達成できず。

。「ダブル・ローイング」(20 本)を入れて、「先行必勝型」を目指
す。

。500 m のレースをやらなかった理由 || 1000 m を漕ぐのがこわくなる (太
郎談)。他クルーと並べるためインターバルが一定せず、トレーニ
ングとしての効果がでにくい。レースピッチより高いピッチで漕が
ないと無意味。以上の理由で、500 m のセットをするなら、レースピ
ッチが一定したレース前に 1 クルーだけでやるのがベストといえる。

。短力漕をもっとやって欲しかった。(インカレ前、市川談) || 夏合
宿では、1000 m のタイムを残すことに熱心になりすぎて、メニューに
工夫が足りなかったと今では反省している。

(4) 漕法について

。「ミドルの引きをいかに強くするか」|| 艇の進む方向とブレードが
直角になった時、最も効率よく力が伝わるので、この時にいかに多
くの水をつかむかが最も重要だと思う。catch や finish も、もちろ
ん漕ぎの節目として大切であるし、uniformity をどこでとるかとい
えば、やはり catch や finish であろう。しかし艇速に最も関与して

いるのは、ミドルの引きである。catch や finish を強調するあまり尻逃げになったり、leg-drive や body-open と腕引きのコンビネーションがおかしい漕ぎになるのは、第一にこの考えをもっていないからだと思う。無理にリーチをかせいだり、back を大きくするより、「鋭い catch に続く力強いミドル、そして body-swing とほぼ同時に終わる腕引き」に注意をはらうべきである。成書によれば、足り↓体の起こし↓腕引きと順々に述べられているものもあるが、シリーズ中は、「足就りと同時に体を起こせ」（|| オードックス漕法に近いですね || 太郎談）「body swing と同時に腕引きも終われ」と極言してきた。足就りの力を腰で受け、その腰を軸として体を開こうとすれば、かなり強い腰まわりが要求される。また正確に言えば、腕引きは body swing にやや遅れるだろう。このムダを省こうとする漕ぎ方が high-pitch 漕法となり、西医体での龍神やインカレでの諸クルーの漕ぎに近づくのではないかと信じている。

(5) 艇・オールについて

。桑野から帰ってきた霧島をみて、シエルの外塗装は我々の手入れじゃ無理だったと思うと共に、それだからこそ平素から手入れをおこなえないなと思った。海で乗艇しているといいたみやすい。崎陽にしてもまた、関西ブロックが西医体主管の時には、修理に出してくれば長持ちすると思う。

。次にセミコン・マイコン・スプーン・concept II について述べてみたい。セミコンは、他の3つのブレードに比べ細い。これは、水中でのブレードの弧を描く軸の中心がブレードの中心にあり、軸の中心より内側のブレードは、艇の進行方向と

同方向に動くことになる（日漕コーチ教本より）このブレードで水をつかむためといって深目に漕ぐのはいただけない。一昨年はこれでいいと信じていた。また、ブレードの先端部でつかんだ水はストローク中多少なりとも外側に逃げてしまうことを考えると、先は細くなっている方がいいようである。また中心にある盛り上がりは、主にブレードの強度を高めるためと思われるが、カーボン製の concept II ではその山が外 $\frac{1}{2}$ には全くないこれで、フィニッシュの抜けがスプーンに比べ、良いとのことだ（山口大、瑠璃S談）インカレ出場してくるクルーもほとんどが concept II で、少数がスプーン、セミ・マコンは、ほとんど見られなかった。（東し滋賀はエイトもフォアもスプーンであった。他に長大の全字もスプーンをもっている。マコンを使用しているクルーとしては、態医の龍神。山太の瑠璃が concept II を持っていて長崎県内では、僕の知るところでは大村高校のAクルーが1セットだけ使用していた）以上考えてくると、スプーンまたは concept II ということになってくるが、価格、購入方法、アフターケアなど考え合わせると、まず上のクルーにスプーンを買い与えることから始めるが妥当であろう。しかし、shaft も blade もカーボン製の concept II の耐久性も魅力的で、カーボン・シエルに concept II というとり合わせも理想として捨てられないさしあたっては、ナックル艇ではセミマコン・シエル艇では、マコン or スプーンで頑張っしてほしい。

(6) 反省と考察

。崎陽で52本、おおよそ31号で10本、計62本の1000mを測った。（time を測らなかったものや、LPで流したものは含まない）ちなみに僕

や福井君の故郷でもある嬉野までがちょうど62 Kmで、1本に4分かかったとして、一時長崎から嬉野までイッキに漕ぐとすると、約4時間で漕ぎ着くことになるまた、岬⇄電線のセットは合計で27本漕いでいる。

表を見てもわかるように、(次頁)西医体前のタイムより朝日レガッタ前のタイムの方が良い。自然条件やその時の練習量(朝日レガッタ前11本/12日、夏合宿中は5本/日の日もある)も考慮しなければならぬが、練習風景のビデオを見ても調子が上っていたとはいえない。言っても仕方ないかもしれないが、夏合宿が正味1Wしかなかったことと、夏合宿前のテスト期間があるということは他の大学に比べると非常に痛い。しかし、Aクルーのタイムがのび悩んでいて、対照的にテスト期間中に最も熱心に陸トレしていたCクルーが、夏合宿後半になって調子をあげてきて、西医体では唯一準決勝に進出したのは、テスト期間中の自主トレの重大さを再認識せられた。結局、「朝日レガッタまでにどこまで調子をあげていくか」と「その調子をテスト期間中どこまで維持できるか」にかかっている。夏合宿に入れば、故障者やその他アクシデントがおこらない限り頑張ってしまうものである。

。「1000 mは短距離走と同じ」(太郎談)、福山での西医体の時は、途中一艇身リードを保ったまま settle down させ、last spurt に添えようとして、リズムをくずし失敗した苦い経験がある。コンスタント31でラストで33なら、最初から最後まで33で漕ぎきるつもりで。もちろん、クルーの potential & uniformity なども当然考慮した上で。しかし、ピッチとタイムだけで言わせてもらえらるなら constant

pitch ≡ 33、last pitch ≡ 35ぐらいで子々川1000 mを平均で40'を切り、最高タイムで30'になるべく近づけたら自ずと試合の結果はでてくると思う。

。昨年はよくビデオを見た。春合宿や朝日レガッタ前の合宿、また夏合宿の練習風景をみると、o.k.席からは見えないクルーの状態がよくつかめておもしろい。特に、stillやslowにすると、4人の体の動きはもちろんブレード1/3枚の catch の遅れまで指摘でき、大変有効だった。試合に行った時に他のクルーの漕ぎを目に焼きつけようとしても、味方の応援やなにやらでなかなか難しい。その点ビデオだとくり返し他のクルーの漕ぎを見ることができ、その場でディスカッションもできる。今年は昨年以上にビデオを活用してはと思う。また、態医ボート部のように、新入生勧誘のためのプロモーションビデオをつくるのもおもしろいだろう。エイトはいいですから、ビデオ、カメラを買って下さい。

(7) 最後に

。昨年の岡野君の「陸トレに関する研究レポート」を読み、水の上での練習こそもっと科学的に考えねばならないと痛感し、昨シーズンまず新しく1000 mのコースを作ることから始めた。そして、山口大学の春合宿に参加させてもらった折、壁にはってある歴代クルーのタイムとダンボール箱いっぱいビデオテープを見て、その感を増々強くしたまた山口大の部誌をひもといても、シーズン通しての練習内容と考慮が詳しく書かれており、感心した。見習うべきは大きいと思う。

。今回は、タイムは残してはいるものの、練習内容としてはこと詳し

く書いてはいない定常メニュー+αには変わりはないが……。昨シーズン是对校クルーなしのA・B・Cクルー編成だったし、やはり九山、西医体で優勝した時のcoxにゆずりたい。その時こそ、「勝つためには、これくらいの練習が必要だ」との報告が載ることを期待しているし、それがそんなに遠くはない。いや近い将来、必ず実現すると信じているのです。

。現在、この漕法がベストという漕ぎ方はないように思う。戸田では2000mのレースをコンスタントピッチ33→35というピッチで、漕ぐクルーがほとんどであるが、昨年のインカレ、シエルフォアで優勝した日本大学のクルーは、コンスタントピッチが28→30という超ローピッチで漕いでいたことも事実である。我々ボート部においてもAクルー以下全てのクルーが同じ漕ぎを目標にしなくてもいいと思う。各クルーで体格、体力も違うだろうし、クルー内でもまた違うだろう。しかし、Aクルーが九山、西医体で優勝すれば、それを手本として「長大医ボの漕ぎ」としてほしい。

。以上、成績低迷の元凶であった僕が、勝手なことばかり書いてきたが現役引退という無責任さで許してほしい。間違ひも多々あるかもしれないので、う呑みは禁物。これをたたき台として来年はもっと充実した練習報告を期待しています。

。最後に、バウでいつも元気な声を出していた白藤、2番でテスト期間中も学1でただ一人黙々と自主トレをやっていた旭、3番で昨シーズン最も成長著しかった市川、そしてストロークでテスト期間中はまざまざと底力をみせつけてくれた太郎。昨シーズンはよく頑張りました。今シーズンこそ、飛躍の年にして下さい。

① 1000m max

	岬 (600m)	三 角 (800m)	ゴール (1000m)	備 考
春合宿～九山前 4/19			3' 49	pitch? 順風 Bクルー 3' 45
4/24 (ナックル)	2' 31	3' 27	4' 13	30→31→33 無風・静水 九山前で決勝用、DR+Last 30
朝日レガッタ前 5/18			3' 36	31→? A C B 全学も加えて、 4クルーで5セット中2セット目
県漕前	2' 17	3' 10	3' 54	26→29→30 無風・静水 崎陽乗艇は1回のみ
テスト期間中 7/16	2' 14	3' 05	3' 48	?→? 2000mの1000mラップより 悪い、勉強疲れか?
夏合宿・前半 7/21	2' 13	3' 02	3' 40	31→33 A≡C 順風・弱波 4セットのうちの3セット目
夏合宿・後半 7/24	2' 12	3' 01	3' 41	30→? A C B
西医体直前 (琵琶湖)			3' 37 3' 35	(7/28) 無風・静水 (7/29) //

(8) 子々川タイム

② 1000m average

	岬 (600m)	三 角 (800m)	ゴール (1000m)	備 考
春合宿～九山前 (3/25～4/24)	2' 23 (10 本)		4' 05	14 本
〃	2' 35	3' 33	4' 25	6 本 おおよど 31 号
朝日レガッタ前 (5/9～5/20)	2' 10 (9 本)	3' 01 (7 本)	3' 43	11 本
県漕前 (5/31～6/4)	2' 31	3' 32	4' 19	4 本 おおよど 31 号
テスト期間中 (7/12・16)	2' 14	3' 06 (2 本)	3' 49	3 本
夏合宿・前半 (7/19～7/21)	2' 15	3' 05	3' 46" 1	11 本 3' 40 が 3 本～3' 55
夏合宿・後半 (7/24～7/26)	2' 15	3' 06	3' 46" 6	9 本 3' 41 が 1 本～3' 56

雑 感

学Ⅲ 金 色 正 広

毎年のことながら筆不精の私にとって、この部誌の原稿を書かなければいけないということは、再試を2、3コ抱えているような憂うつな気分である。先輩のDr、M氏のマネをして、アルコールの力に任せ、一気に書き上げようかとやってもみたが頭は一向に働かず眠くなるばかりである。市川君にも迷惑をかけてしまった。メンネ。

さて、去年の夏、多大なクレジットと引替えにビデオ、さらにLD & CDプレーヤーを手に入れ、十年来のステレオと14型のTVとともに、いわゆる今流行のAVシステムなるものが曲がりなりにも完成した。

ビデオさえも贅沢品だと思っていたが、使って見るとその便利さには今では絶対に手離なせないものとなってしまった。

TVなどの録画、再生はもちろんのこと、オートリバースのデッキを持っていなかったので長時間録音できるビデオで、ラジオの深夜放送を録っておき、翌日聞くなどということもやっている。(しかしながら、たけしが出ないと面白くないね、岡野君。中島さんが終わって残念だね、青木君。)

一方レーザーディスクの良い点は画像がビデオに比べてはるかに美しいことと、ソフトが安いことである。先日モフランシス・コッポラの「アウトサイダー」という映画を¥3900円で買ってきた。もちろん新品である。CD一枚分ほだった。レンタルしてるところもあり、時

々借りてきては良かったものはテープにダビングして保存しているがレンタルビデオより奇麗である。

次はぜひ大きなテレビに変え、サラウンドにしたいなどと思っているが、これから先のことはドクターになってからである。

今年ついに同じ年に入学した青木が卒業してしまった。小児科に進むそうである。彼のいろいろなエピソードについては部員諸君はすでに知っていると思うがドクターになってまで子供に笑われるようなこととはしないではしいと願っている(がきつとやると確信している。酒の席や来年の部誌を期待している)。がんばってくれたまえ。

better rowing and training

学3 天野 秀 明

現在の部員の中に rowing と training に対する確かな知識を持つ者が少ないので、参考文書より、必ず覚えておくべき最低限事項をぬき出して、ここにのせることにします。

● The Cycle of Stroke

① Blade out and flat

インサイドハンドでブレードをスクウェアからターンしてフェザーにする(数分の1秒)

(注意点) 抜き上げをすばやく!! 両手を使ってフェザーするな!!

② Hands forward

(注意点) 両脚を十分ストレートに伸ばせ!! 両脚でフォワードの動きをリードせよ!!

③ Body forward

(注意点) 上体を前傾させ、両手が 頭上を十分クリアするように!!

④ Knees rising

(注意点) 両手が膝上を越えてから両膝をゆるめる!!

⑤ Side ways pressure

(注意点) 上体は柔く保ち、ラテラル・プレッシャーをブレードが描く回転の弧に従わせよ!!

⑥ Hands rising

(注意点) 両手を不必要なまでに船底に近づけるな!! 下を向くな

⑦ Inside arm flexes and squares

(注意点) インサイドの手を軟らかく、ブレードターンはインサイドの手で!!

⑧ Small, quick movement covers blade

(注意点) 鋭いブレードカバー、水中に入れたブレードを即座に加速最もむずかしい、ポイント中のポイント!!

⑨ Constant power applied but at increasing speed as water gives.

(注意点) 艇速に弾みをつけるように水中で加速するブレードを深くするな!! 水をつかめ!!

⑩ Clean extraction

(注意点) 上体が起きる前に両手を伸ばさないときたないフィニッシュとなる。
水を引っかける
アウトサイドに上体を倒すな!! (体を逃がすな!!)

● rowing と anatomy

small, quick movement covers blade

(使用する筋) m. deltoideus, m. coracobrachialis,

m. erector spinae

constant power applied but at increasing speed as water gives

(使用する筋) m. quadriceps femoris, m. psoas major,

m. triceps surae, m. erector spinae

m. latissimus dorsi, m. teres major

m. trapezius, m. rhomboides

clean extraction

(使用する筋) m. erector spinae

リカバリ

(使用する筋) m. deltoideus, m. coracobrachialis,

m. triceps brachii, m. pectoralis major,

m. serratus anterior 腹筋群

m. iliopsoas

● muscle の肥大とウェイトトレーニングの重要性

神経系と連絡のある筋は幾分張られている。これを tonus という。筋固有の弾性と、神経からの刺激による微小な収縮とが加わっているからである。

筋の運動を反復すると筋線維が太くなり張力が増す。これを functional hypertrophy という。筋線維の数は増さない。同じ仕事量でも、重い負荷で短時間続けた方が、軽い負荷で長時間続けるよりも肥大効果が大きい。すなわち肥大の程度は単位時間に行なう

仕事の大きい方が大きい。また等尺性収縮をさせる方が等張性収縮をさせるよりも、肥大効果が大きい。

筋力を増すトレーニングとしては毎日最大筋力の $\frac{2}{3}$ の負荷の力を出すように練習するのがよいといわれている。肥大した筋線維には 白質・グリコーゲン・ミオグロビンの含量が増している。

ローイングは爆発的な力と持久力のコンビネーションスポーツである。漕技を身につけるには前述の筋群を鍛える必要がある。又、艇速を伸ばすには、相当な筋力、持久力のアップを必要とする。

● 筋肉疲労と休息

ウェイトトレーニングも、ただやみくもにやっては意味がない、筋肉は疲労するから適当な休息・入浴（血行をよくする）・体操・栄養補給を必要とする。筋疲労の内部的原因は ①膜の興奮性低下 ②興奮収縮連関の能率低下 ③ATP分解による化学エネルギーを機械の仕事に変換する効率の低下 ④エネルギー源の枯渇 ⑤乳酸生成に伴う筋内のPH減少による代謝の遅延である。

休息・入浴・栄養補給等は、これらの原因除去に働き疲労回復をもたらす、筋は、十分な収縮を行なえるようになるのである。

● ウェイトトレーニング法

これに関しては陸トレ担当の山本修が詳しく記すことになっているので、そちらを、充分勉強してほしい。

● ウェイトトレーニング時の注意点

① なぜバーベルをあげる時、息を止めてはいけないか？
声門を閉じて強い呼吸運動をすると、肺内圧は $100 \sim 110 \text{ mmHg}$ になる、これを腹圧（いきみ）または怒責という、これにより脳から

の血液を心臓に返す静脈の圧は上昇する。すると頭蓋内圧も上昇し、動脈が圧迫されるので、脳流量が減少することになる。脳血流量が減少すると、直ちに血管運動中枢の O_2 欠乏を招き、体循環血圧が上昇するので脳血流量は再び増加する、しかしこのときに心臓は体循環血圧を上昇させるために、かなりの負担を強いられることになる。又、脳血流の減少は失神をきたしやすい。軽度の場合は O_2 欠乏によりこれが嘔吐中枢を刺激し nausea や vomiting をおこすことがあると考えられる。

② なぜバーベルをあげる時、息を吸ってはいけないか？

吸気時、横隔膜が下降し胸腔内圧は低下する。よって、静脈血の心臓への環流量は増す。一方、筋運動を行なう時、運動の開始と共に関節からの求心性インパルスが増加して呼吸運動は促進され、交感神経活動はますます高度になる。一方筋収縮によって静脈が圧迫され（筋ポンプ作用）静脈血は右心房へ向って押し出されるため還流量は急速に増大するので、一回心拍出量が増加し、収縮期血圧も上昇する。この為、心臓には、かなりの負担がかかる。

● ストレッチングの意味（ウォーミングアップの意味）

ウォーミングアップの目的は次の6つがある。

① 体温をあげる

体内で最も物質代謝が激しく、熱産生の多い臓器は骨格筋と肝臓である。安静時は、大動脈血よりも $0.4 \sim 0.8^\circ C$ 温度が高い。運動中は骨格筋で1gあたり単収縮につき約 $0.0035 Cal$ の熱産生があり最も高温である。骨格筋における熱産生を多くして

やることで、筋への血流増加をもたらす、そのことにより、筋は収縮に適した状態となる。

② 呼吸の準備をする

主に、交感神経をより作動させることにより呼吸数は増加、より多くの O_2 をとり入れられる状態をつくる。

③ 血液の循環をよくする

筋の運動により CO_2 などの代謝産物ができ血管は拡張する。又、休止毛細血管にも血液が流れるようになるので筋の血流量は安静時の100倍にも達するが、血流速度はさほど増加しない。したがって O_2 供給は著しく増加する。

④ 神経系統の準備をする

主として交感神経の作動により、ホルモン分泌を促す（アドレナリン）

⑤ 身体に柔軟性を出す

⑥ 精神的な準備をする

これらの事を十分理解しておけば、走った後に、寒い外でストレッチをすることなどは無意味であり、改善されるべきである。

● rowing と呼吸法

中国では近年、健康の増進、病気の治療、として気功が広く大衆に愛好され爆発的なブームを呼んでいる。「気」とは、空気と「元氣」をさす。「元氣」とは人体の疾病に対する抵抗力、外界環境に対する適応力、体力の損耗に対する修復力のことをいう。

気功法の書によると、呼吸と動作の密接な配合に注意するようにということとで次の記述があった。

『動作のはじまり「開」は吸、動作がきまったとき「合」は呼開合と呼吸を自然に調節し、精気の充足に努めること』私は、ずっと以前から思っていたのであるが、ボートも、この気功法や大極拳、マラソンなどのスポーツと同様に適する呼吸法というものがあるのではないだろうか。呼吸生理、循環生理を考えると、又、気功の記述を念頭におくと、開は、フィニッシュで、あると考えられ又、実際に筋収縮を考え、心臓の負担を考えるならばフォワード中に吸いキャッチ→ドライブ→フィニッシュで吐くのが良いと考えられる。私は実際にこれを試して見たが、しかし、どうもうまいかなかった。1000mのうちの500mまではなんとかやって見たが、あとは苦しくて、どうにもならないというのが実感であった。結局、私がたどったパターンは、キャッチ→ドライブ→フィニッシュは息を止め、水からぬきあげて、ブレードターンのととき息を吐き、フォワードでは2回大きく呼吸しキャッチへ、というものであった。他の漕手の方々は呼吸法について、どのようにお考えでしょうか。

● ナックル艇の塗り替えに関する報告

期間：昭和61年10月～昭和62年2月

手順：① 全体のサンドペーパーかけ（これは大半の月日を費す）
前の塗料と、新しく塗る塗料の質がちがう場合は、すぐにハゲ落ちてしまうので、完全に前の塗料をはがす為、入念にサンドペーパーをかけた。サンドペーパーは一枚

30円布やすりは一枚110円だったので、はじめは節約と思いサンドペーパーを使用していたが、これが全くダメで仕事の能率は上らないし、ペーパーはすぐダメになるしで良い所なしであった。そこで途中から布やすりに変えたとサンドペーパーに比較し、スピード耐久性共に10倍ほどであった。初めから布やすりを使えば、ずっと速く作業が終っていたものと思われる。

② 乾いた布で何度もこすって、表面をきれいにし、まず底板を塗る。

塗料はデルタに注文（色はブルー）塗装には、スプレー式器具（商品名：ワグナー1700）を使用

塗料はそのまま使ったら濃いのでシンナーで適度にうすめるのが良い。量は、6kgほど必要。

塗る前に側板、ガンネルを新聞紙でおおう作業が必要。その手順はまず、マスクテープ（塗料店・サンアイに売っている）をきつ水線に沿ってはる。それよりややずらして新聞紙を、マスクテープでとめて行くのである。

（図）マスクテープ



③ このときマスクテープを用いず、ガムテープなどをつかうと、はがす時、はげにくいのでやめておいた方が良いでしょう。次に同じ要領で、外板とガンネルを塗る。その前にやはり底板の方を、新聞紙でおおう。やり方は同じ。たたしこの時新聞紙と、これから塗る所の境界の新聞紙側にガ

ムテープをはる事で、塗料が、新聞にしみこんで底板のブルーの塗料に変化がおこるのを防ぐことが必要。

塗料は、ポリウレタン樹脂塗料（2液タイプ）を用いる。これは塗料店に売っているが私達が買ったのは滑石の木崎塗料店である。（参考まで）量は2kg
以上がだいたいの手順である。

失敗：① 布やすりを用いず、サンドペーパーを使った事。

② 塗装の日がちょうどくもりで、せっかく塗った所にハエが集ってしまった、これを取り除くのが困った。

晴天の日にはハエが集まらないそうなので（子々川のおじさん談）天気の良い日を選ぶべきであった。

③ やすりがけに時間がかかった為に艇の底板に多数のヒビ割れが生じ、それをうめるためにパテを使ったりして、おもいっきり手間と金がかかった。

④ やすりがけに、人数不足の時もあり、そのことも進行をおくらせた。

感想：とにかく大変でした。しかし、やりとげて見ると快い充実感を味わうことができました。寒い日に、かじかむ手をこすりながらやすりがけをした日々。タコ焼きや、時津まんじゅうをさし入れてくれた中村晋・等々 ボート部生活の楽し思い出の一ページとなりました。最後になりましたが、以下にします、C、D、クルーの皆様、本当に御苦労さまでした。有難う。

山本修・中村晋・吉川公正・生田安司・鈴木康弘・黒木保・佐藤俊一・津田純・中野基・南恵樹の方々によって、完成いたしました。

予 告

学3 吉 川 公 正

ボート生活も5年目を迎え、今年こそはボートの話題でこれを書こうと思ったが、またはや試験に追われてしまい、これまでのボート生活を振り返り、そしてボートとは……などと考える時間もなくなってしまった。今年も〆切間近まで何も考えてなかったのがすべての理由ではあるが。

そういう訳で今は春合宿。

今年は特に寒い、桜の開花宣言も一週間前にはでたと思ったが、どうしたことだろう。しかし最後の春合宿、今期は漕手として一花咲かせたいものだ。そして引退する時は、ボートをやっていて良かったと思えるようになりたい。来年の部誌の原稿は必ずボートの話題で書こう。

と、これで終わってしまったのは来年の予告だけになってしまう。でも話題がない。時間もない。

そういう訳で、来年の予告でした。

「苦痛から笑みがこぼれる」

学Ⅱ 旭 隆 宏

昨年の11月にSサイドからBサイドへかわることになった。一から出直しといった感じであったが、ついに変なクセもなくなって素直なオールがひけるようになり、ボクにとってはラッキーであった。それはともかく、毎回の乗艇では、以前に増して必死に、前で漕いでいるR君の動きを追わなければならなくなった。そんな毎日の中でふと思った。毎日何時間もしっしょに漕いではいるが、どんな顔をして漕いでいるかはみることがない。こいつは今いったいどんな表情をしているんやろか。“セイッ”と威勢良く返事をしながら、実はボカーンと口を開けているのかもしれないし、またあるときは、自分のへの臭いに眉をしかめているかもしれない。バーベルをあげるという単調な動作の中にも、様々な表情をみせて我々を楽しませてくれる彼のことである。刻一刻と状況の変化する艇の上では、もっともっとおもしろい表情をしていることであろうと推測されるのに、それが見れないのは、もったいないような気がしなくもない。

さて、所謂ボーカーフェイスやへそ曲がりとは別として、表情というのは、そのときの気分や感情がでてくるものであります。だから、練習・レースで、きついときには当然顔はゆがみます。(因みに“きつい”が標準語でないことをボクはつい最近知りました。)ところが、逆に感情、気分が、表情によって左右される部分も大きいように思うのです。例えば野球のボールがあたったとき、顔をしかめるのと、何

てことないという顔をしたときでは痛さが違います。

ですから、体力、気力共に極限まで使いきるボートのレース。600m付近での足げりの入れあい。苦しさは増し、泣き声でもあげようものならもうどつぽ。漕ぎは乱れ、練習時のタイムも望めないでしょう。

ここで気合でもって顔をひきしめ、冷静な表情ができれば、少くとも練習通りの漕ぎができるでしょう。

さらにこの極限状態の中で笑顔をつくることができたなら、苦痛を快樂とかわえることができたなら、もう恐いものはありません。艇はあの光へと向って突っ(我ながらアホな文章やな!)走り、自然、勝利は我々の手中に……。 (しかしアクセル一つで我々を抜き去る(クソ)) 審判艇を横見に必死に漕ぐんだから、オマズマンというものはやっぱり多かれ少なかれマゾヒストなのでしょう。)

冬の陸トレは少くともこの3年間の中で、一番きつかった。その成果は艇速に表れてきていると思う。西医体初優勝……本当に夢でない気がしてきた。

87年8月2日 西医体決勝

500m過ぎても横一線。各艇必死の形相にて足げりの入れあい。その中で、大胆不敵にニヤリと笑う長大クルー……………

ダイナマイトは爆発した。

考えるだけでゾクゾクする。

旅——中国へ——

学Ⅱ 白 藤 智 之

僕が教養留年していたある頃、バイトでためた金を持てあましていた。そこにバイト先のカメラマンの人が海外旅行を勧めてくれたので行ってみようかという気になった。始めは一人旅の予定だったのが、親の強硬な反対にあったため暇をもてあましているN氏を誘うことにした。N氏も迷ったあげくに一諸に行くことを決心してくれた。こうして夢みるヒマな留年生がその留年生活を有意義にすべく、旅び立ちを試みようとしたのであった。

旅行会社とのトラブルを重ねつつ、みんなに計画だおれになると言われつつもなんとか行けることとなった。行先は『中国』になった。N氏と一緒に計画を立て、費用18円以内、2週間、中国入国以後は行きあたりばったりの適当な予定を組み、僕は軽装、N氏は用意万端で福岡国際空港を旅び立った。二人は共に22才、昭和61年2月27日午後3時であった。

約8時間後、ジェット機は、大都会香港の光の海の中に着陸した。タラップを降り、入国手続きをすませ、税関を通ると、そこはもう右も左もわからない海外であった。

タクシーに乗りこみ、旅行会社指定のホテルへ向った。中ではわけのわからない中国語の歌がながれ、『Mr、BOU』のような運転手がハイウエーをすつとばしていた。

二人の不安をよそに、なにごともなくホテルにつくと、そこには日

本人の旅行会社の人や、我々のような日本人の旅行者がいた。我々は部室で一息つくと、ロビーにいた女の子に声をかけ、男も何人かで香港の町へくり出した。

夜だというのにたいした危険もありそうになく、その日はぶらぶら歩いてメシをくってホテルへもどった。中国入国の書類を書きこみながら、もう心は中国だった。

翌朝、香港の、まだ日本にもないようなカッコいい列車に乗り、中国との国境の町『深川』に向かった。駅につき、ホームをおりてレストランに入って朝メシを食べながら、旅行会社の人を待ち、やがてその人につれられて、一行約十数名は国境へと駅の構内を歩いた。

香港出国手続きをすませ、橋をわたるともう中国だ。黒だかりの乗橋用の入国口を横目に、外国人用の入口でいいかげんな審査をあっというまにすませ、駅の構内を歩いていくとしだいに時代をさかのぼりはじめ、戦前を思わせるようなホームにたどりついた。列車も香港とは100年ぐらいの年代差を感じさせるものだった。人間もごった返しでまさに『中国』を思わせた。旅行会社の人に列ままで案内してもらい、ここで別れて、一行はひたすらろい列車で広州を見物した。

列車の中で愛知教育大学のわりとかわいい女の子と話をしながら暇をつぶして、ようやく数時間後、広州の駅についた。

大勢の人間をかきわけて駅を出るとそこには広大な中国の都市『広州』があった。立て物は灰色っぽく、町全体が赤茶けていて、っぽかったが、とにかく広かった。ここに来て、初めて、中国に来たノという思いがたちこめてきた。ここからはもう勝手気ままな旅行が許されるのである。思いっきり翼を広げられたような気持ちで、二人は歩き出

した。

まずここで二人が最初に驚いたのは、道路に横断歩道も信号もないことだった。車や自転車をやけながら道路をわたるのだが、あぶなかしくてしょうがない。

そしてまず銀行に行って金を元に替えた。ここで一つN氏は一万円の小切手をぶちぎって銀行の人におこられてしまった。彼はここから先、皆が知ってるように数々の偶話を残すのであるが、いちいち書いては用紙が何枚あってもたりないので本人のプライバシーに触れる事、名拳を傷つけるおそれのあるもの、信義の程が明確でないものについては省かせていただく。ことにした。

金を替えると札がいっぱいになって大金持ちになった気がした。二人はホテルをさがし、北京行き飛行機の切符を買おうと、夜の町へ、出かけた。町で使うことのなかった 値切って買い、メシ屋でフカヒレのスープをたべて、満足して一夜をすごした。三月というのにむし熱い広州だった。

翌朝、ジェットで北京へ向った。機内で僕は隣の29才の中国女性とひまわりの種を食べながら筆談をかわした。中国の人と心をかわしたような気がしてほんとに中国に来た甲斐があったと思った。今でもその時もらった種を持っている。

北京について、地図を手に入れ旅行案内所へ歩いていった。始め、十分歩いて行ける距離だと思ったがむちゃくちゃ遠くて、重い荷物をかかえて死ぬほど歩かされ。やっとな案内所はしまっていてどうしようかと思っていいたら、同じような学生がいたので、その人達のいるホテルにとまることにした。

北京では、観光の最大の目的万里の長城と故宮博物館を見た。万里の長城では、最高の写真をとってこれた。ホテルへもどつてくると、暇なのでフロントの中国女性と話をした。彼女達は日本の歌を歌ってくれたりして、そうとうもり上がったのだが、中国の歌を歌ってくれと言われた時には困ってしまった。N氏はこの時は今までに見せたことのない笑顔ではしゃいでいた。はつきりいって僕もだったが。また、何日か目の夜、メシを食いに外へ出たが、九時だというのに店がどこもあいてなく、しかたなくある一軒の飲み屋らしき所に入り、鶏のまる焼きを食べた。中に石が入っていて、吐き出したとき「カチン」と音をたてたのが妙におかしかった。

北京から寝台列車で南京に行き、そこから揚子江を船で下り上海へ向った。書きたいことは山ほどあるのだが、きりがないので多少省略させていただく。

上海では、主に町中を歩きまわった。主なのは、あの有名な上海雑技団を見にいったことである。残念ながら皮肉なことに主なメンバーが来日していて、パンダの芸も見られなかった。そのあと、日帰りで蘇州へも行き、旅行はやがて山場をすぎて二人は帰りを意識をしはじめた。ある夜、N氏は僕をジャスバーに飲みにつれていくれた。さながら、『上海バンスキング』のようであった。中国の旅行をしめくくるには思い出深い夜だったが、今だにN氏はそのことを恩に着せる。

上海から広州に飛行機で、あやうく乗りそこねる所だったのだが無事に向かうことができた。広州では、ヘビ料理をたべたのち、最後の中国の夜を25元(約200円)のローカのベットの上ですごした。

翌日香港に向い、香港でみやげを買いこんだのち、100万ドルの夜景を見にいったが、一界約5mの深い霧で、1ドルくらいの夜景だった。翌日、朝早く香港国際空港へ向い、後ろ髪を思いつきり引かれる思いで香港を立った。

数時間後、飛行機は福岡上空へたどりついた。福岡の町の光を見た時、なぜか家にたどりついたような安堵感があつた。

その日はN氏の家にとめてもらい、旅行であまった金は福岡でつかいはたして帰った。何に使ったかは、忘れてしまった。

僕は、留年して時間と金の余った人には——海外旅行をお勧めする。時間のありあまつてゐる時は、今しかない。それに国内旅行で北海道に行くくらいなら同じ金で中国に行ったほうが徳だと思う。思い切つて行ってみるときつと君はやみつきになるのではなからうか。

ラストシーズン？

学Ⅱ 寺 尾 保 信

さて、部誌の原稿である。毎年、締め切りに追われ、何を書くかと、過去の先輩方の漕魂をめぐつてみる。今年はさらに山口大、東北大の部誌も手元にあるので、これを見る。

アジア大会に参加した東北大の田中あゆみさんは、「そろそろ漕ぐのをやめようか、と考えていたのが本場のレベルの高さを見て、もう一度来てみたい。とにかく来年は漕ごう、と決心した」と、感想を結んでいる。

我々はまだこの域に達していない。練習すればする程、理想が遠い

ことを知り、理想に近づきたいと思う。漕げば漕ぐ程、考えれば考える程、ボートは深くなる。漕ぎ込むにつれ、漕法に関する文章にも、違った意味がみえてくる。

とにかく練習量が足りない。一KMでも長く漕ぎ、一KGでも重いウエイトを上げる。まず、これから。漕ぎ込んで、走り込んで、それから考えてゆこう。

今春から五シーズン目になる。先日、高久先生がおっしゃったように、勝たなければボートではない。そしてまた、楽しまなければクラブではない。今の自分には、勝つための努力、楽しむための余裕が共に欠けている。クラブに関して、できる努力はしてゆこう。努力して、理想を大きくし、その結果としての現実に自分が感動できるように。そして、西医体が終わったあと、「もう一シーズンやってみよう。」と、思えるように。

ボクとボート

学Ⅱ 中 村 晋

高校時代は体育系のクラブに入らず、体力が劣えていたため、ボート部に入りたての頃は練習がきつくて仕様がなかった。

色々な先輩から指導をうけながら漕いでいたがどうもうまくいかない。特に「オールにぶら下がれ」という言葉に関しては、頭の中で何となくイメージには描けるものの、実際には会得できず、ボートを続ける自信のもてないままだった。

そんなある日、練習中に「もしかしたら、これがオールにぶら下が

る感覚が何となくわかってきました。」と何の気なしに答えた。

すると、「そうか!! ぶら下がるようになったか。」と、こっちがとまどうくらいに大喜びしてくれて、続けて「その時オールがしなりよろう」と尋ねてきた。僕は半ば興奮気味に、「はいそうです。しなってます」と身振り手振りを加えてその時の様子を話した。その話を聞きながら「そうか、そうか。そうなればボートはしめたもんよ。」とうなづいてくれた。

僕にとってボートの魅力とはこういうものなのかもしれない。

先輩からのアドバイスを聞いたり、本を読んだりして、漕ぎのイメージを頭に描く。

中にはイメージに描きにくい言葉も少なくない、「良いキャッチをしたときにはベルを鳴らしたような音がする」などと書いてあっても実際に体験してみなければわからない。とにかく頭に描いた通りに漕ぐと努力する。しかしなかなか体は自分の思うように動いてくれない。スポーツ全体に共通する難しさなのかもしれない。しかしそれだけに会得できた時のうれしさは格別のものだ。

どうも文章にまとまりがなくなってきた。頭がぐらついてきている。しめきりまであと1時間しかない。

とにかく、ボート部を続けていこうと決心した晩の、あの鳥忠の油のういた手羽とビールのほろにがい味を思い出す度に腹が鳴る。

有言実行——出来たらなあ——

学Ⅱ 山 本 太 郎

夏に全日本大学選手権大会が終り、ぼくもこれで対校を漕ぐことはないだろうと一人決めていました。結果は西医体、インカレと、どん底の成績でしたが、それほどくやしくもなく（もともと余りくやしいとか思わない性でもあります）自分のローイング生活に満足していたこともまあ事実でした。四月から専門の授業が始まり、クラブとの両立もかなり苦しく、精神的にも肉体的にもめげていたのです。朝練というのがありますが、朝五時に集合して練習に行くわけです。coxから電話があります。解剖の予習で一時、二時になっていますので、これはちょっと不気嫌です。

だからぼくは夏が終ったあと、対校を降りようと思っていました。ところがドッコイ、そうは問屋がよろさずまたもや対校を漕ぐことになりました。ア—アなんていいません。頑張ります。秋には宮城杯で優勝させていただきましたが、この前の合宿もきつかった。!

また対熊大戦でも勝ち、初めての優勝、二度目の優勝を一度に味わい、これをふみ台に夏まで頑張りたいと思っています。

今年はおそらく我漕艇部史上初めての、対校クルーが四月から七月まで合宿に入ります。これがどういう効果を上げてくれるか楽しみです。

トレーニングについて

学Ⅱ 山 本 修

昨年の九月から陸上トレーニングの責任者としてやってきましたが、これまでの練習の内容やそれについての反省などについて書いて見たいと思います。また部員の間ではあまり過去の部誌は読まれていないようなので、まず、筋力トレーニング、ランニングの基本的な方法などについて書いておきたいと思います。

。筋力トレーニング

筋力トレーニングは目的や方法の違いから大きく二つに分けることができる。

① 筋力（最大筋力）トレーニング

負荷は最大筋力の3分の2以上。10RMの負荷で3セット、5RMの負荷で5セットなどの方法がよく使われる。当然、後の方が最大筋力に対する効果は大きい。

② 筋持久力トレーニング

最大筋力の3分の1前後の負荷で30回以上反復する。

トレーニング頻度と効果の関係は、筋力向上トレーニングの場合は週3回と週6回であり差がないのに対して、持久力トレーニングでは2倍以上の差があるとされている。

蛇足ではあるがウェイトを挙げる場合をコンセントリック収縮、おろす場合をエキセントリック収縮と呼び、筋力の向上に対する効果は等しいとされている。いずれにしても正しいフォームでは

ずみをつけずにウェイトをコントロールしながら動かす必要がある。

。ランニング

ランニングにも数多くの練習法があるが、代表的なものを挙げる。

① 持久走、持続走、

普通の長距離ランニングで、持久走は距離を定めて行うのに対し、持続走は一定のペースで走り続ける。

② スピードプレー

長距離をスピードに変化をもたせながら走る。起伏のあるコースを走るクロスカントリーの場合は特に効果があるといわれる。

③ インターバル

短い距離（100m～400mが一般的）の急走をインターバルをはさんで繰り返す。ハイスピードの持久力をつけることを目的としている。運動の強度やインターバルのとり方には心拍数を参考にすることが多い。インターバルのとり方には諸説があるが、心拍数が120以下に下がると持久力の訓練にはならないと言われている。

④ レペティション

インターバルよりもレース距離に近い距離を十分な休息を繰り返して繰り返す。スピード練習の性格が強い。

これらのことはランニングについてだが、細部の違いを除けば乗艇練習と共通している。重要なことは③や④などのスピードトレーニングさえ、やればよいと思わないこと。②の練習はスピードを競う競技に必要な練習のほとんどを含んでいる。

。サーキットトレーニング

サーキットは筋力と全身持久力を同時にトレーニングするもので、ボートの練習としては最も自然な方法といえる。自分の体重を負荷として運動するのは筋力の弱い中高生などの場合で、もともとウェイトを用いて行なうトレーニングである。モーガンとアダムソンによって創られた最初のサーキットトレーニングは有名なもので、ここではエアロビクスの創始者のK・H・クーパーらが編み出した方法について述べる。従来の方法と異なるのは、ウェイトトレーニングの種目と心拍数を上げることのできる全身運動とをベアにして循環する(例えばカールを30秒間できる限り繰返したあと30秒ジョギングして次の種目へ移る)ことである。これはドイツクルーの練習法にそっくりだが、従来のサーキットよりも効果があることが確認されている。

ところで、昨年から陸トレについて書いてみたい。メニューは昨年と同じく、筋肥大トレーニング、サーキットトレーニング、ランニングの三種類を用意した(詳しい内容についてはAクルーの Cockス記を参照)。

。ランニング

昨年と少し変えて陸上競技場の外周10周前後の軽いランニング、100m(200m)のインターバル、400m、1500m、外周5周のタイムトライアルを主なメニューとして用意したが、様々な理由で欠席者が多く、外周10週のランニングが中心となり、インターバル、タイムトライアルは充分にできなかった。タイムトライアルはやってない人

も多いが結果は参考にはなと思う。また、駅伝大会では、特にこのための練習はしなかったが、全体的に昨年より好成绩で、多少は心肺機能の向上があったと思われる。

。サーキット

バーベルを購入してバーの数に余裕ができたこともあり、バーベル、ダンベル、プレートを負荷とする運動を中心にメニューを組んだ。あまり練習をしたことのない一年生も多かったので、サーキット形式ではあったが、正しいフォームで正確に行なうことに重点を置きタイムにはこだわらなかった。シーズン中にする場合前述のは有酸素運動と組み合わせた方法にすべきだろう。

。筋肥大トレーニング

これは残念なことにAクルー以外ほとんどできなかった。全体でまとまるとやると時間がかかり過ぎるので自主トレを期待したが、これは無理だったかも知れない。

練習全般については、Aクルーはかなりの練習ができたようだが、他のクルーは練習の絶対的量が足りなかったような気がする。試合に勝ちたいと思うだけで勝てるようにならないのは確かだろう。

最後にわがクラブが伝統的にレース後半に弱いことに関して体力的面に対する意見を述べておきたい。

① 乗艇練習の内容

試合前の練習は500mのセット練習が多いが休憩時間が長すぎる。前述のように持久力向上の練習ならば心拍数は最低でも120以上を維持する必要があるが、今までの例だと3分以上完全休息をしているので心拍数はかなり低下している。もともと500mは1000mレ

スのためのインターバル練習を意図しているのならば他に持久力練習の必要がある。

② 乗艇後の補強運動

懸垂とタンツェンをするのが普通だが、懸垂は反復回数が少ないので、持久力が充分に開発されない。レース後半になると腕引きの持久力は足げりの持久力より劣るためにけりと腕引きのコンビネーションに狂いが生じ、リズム、バランスに悪影響を与えることが考えられる。これを防ぐためには反復回数30回×3程度のベントオーバローウなどが必要と思われる。

今日この頃

学Ⅰ 生 田 安 司

1 「この一年間を振り返って見ると何となく足先から手の指先までも及ぶような感動を味わう事ができなかったような気がします。またそれだけではなく普段にも味わうことができる感動、実際にはこの様な区別は不条理なのかもしれないが、もしこの定義があてはまるとするならば、このような事が通常の一年間に比べて少なかったような気がします。

2 「足先から手の指先にまで及ぶ感動を感動A型、後者を感動B型とするならば、感動A型はそう毎年毎年味わえるようなものではないと僕は思っています。その中には自分で勝ち得るものもあれば、他者によって与えられるようなものも存在すると僕は思わずにはいられません。勝ち得るものというものは多くの人々が認めざるを

得ないものであろうと思います。そこで実際に自分が体験した他者によって与えられたものをここで述べてみようと思います。

3 「多分僕が高校1年生の時であったと思うのでありますが、母の知人の家に2週間程やっかいになることになりました。その頃母の知人の家には僕の他に知人の親戚であり、本・当・の・絵・画・家・でもあるKさんもまた泊り込んでいました。ここで「本・当・の」と書いたのは日本中には画家と呼ばれる人々は多数存在はするものの、自分の作品を売ることによってのみで生計をたてている人は手の指の数程のほんの少数であります。その当時一号で5万程であったといえば、絵に関心のある人にはおわかりいただけるかと思いますが……。そしてある日の晩に競売に掛ける作品を僕とお世話になっている家の人々に見せてくれることになりました。即ちその中であつたのです。それは単なる花びんと果物の絵でした。Kさんはスペインの白壁の街並を描くのが、その絵の枚数からもよくわかったのですが、得手なように見うけられました。他のどんな白壁の絵にも感動はしなかったのに、何故かその花びんの絵には僕を引きつけて離さない何かがその奥深く潜んでいました。それを見た時、好きな女の子にアタックする前のように自分では抑えきれないものが胸の中でソワソワと動き始め、いてもたってもいられないような気分になってしまい、どうしようと思ったものです。それが僕が前に述べた種類に入るであろう感動を初めて味わった時のことです。招待状を前日にもらったので競売の当日その会場に入るとその会場の入口にその花びんの絵が掛けており、どこか自分が誇らしくさえ感ずるという少しかわった体験をもまたその絵によって体験することができました。

4 「ただだらと訳のわからないことばかりここまで書いてきましたが、みなさんも食わず嫌いにならずに様々な事柄に触れてみてはいかがでしょうか。何か新しい体験を得るかもしれません。またどうせ味わうのであれば自分で勝ち得るものももっと素晴らしいものでありましようから、何においても自分で勝ち得るよう頑張ろうかな?と頭の中で葛藤する今日この頃であります。 ジャン。ジャン。

「無 題2」

学Ⅰ 鈴 木 康 弘

ある夏の日、何人かの米国人を混えて僕等数人は「ホンネとタテマエ」について議論をしていた。最初はホンネ、もしくはタテマエが何であるかを米国人に説明するために身近にある具体的な例をあげたりしていたが、いっしょに議論は、本当にアメリカ人はタテマエを使わないのかということに移っていた。ここでO君は狡猾にも日本人をどう思うか、と一人のアメリカ人に聞いた。彼はもちろん、そのアメリカ人が、日本人を好きだと答えると予期していた。そして、それから、そこそがタテマエではないのかと切り返そうと思っていたのである。ところがである、その米国人は私の知っている範囲では日本人は親切な人ばかりだと、ちゃんと限定して答えを返してきた。

この点に僕は日本人のものの見方の特性が表れているような気がする。つまり多くの外国人が指摘するように、日本人には自分自身について、また世界のほかの国々の人々について一般化する人が多い、もしくは、何を返事するにしても主語に「I」でなく「We Japanese」をすぐ

用いるということになる。一体全体、この一般化しやすいという日本人の特性（ここで、僕は早くも一般化しているが）は日本が単一民族でほかの国の人々との接触が少なかったということに由来すると考えて良いのだろうか。

ところで、そのアメリカ人はその言葉の後に、「どうして僕がそう限定するかというと、アメリカという国は人種の坩堝といわれているが、実はそうじゃないんです。色々な国から人がやってきてアメリカを作ったけど、各人種は混ざりあってアメリカ人と一般化できるようなものにはなっておらず、アメリカにやってきても各人種は一つ一つが別々のもので、別々の文化をもっている。だから僕には例えばアメリカ人が好きかと聞かれたとしても知ってる範囲で何人かいいやつがいるよとは言えてもアメリカ人が好きだとは言えないのです。」とつけ加えた。

日本の文化、日本人の行動の仕方は、常に人が自分のことをどう思うかということが前提となっているように僕には思われる。

こう考えれば、だれでもが大学に生こうとし、大学を出ていないのを学歴がないといって恥たり、外国人の書いた日本人論がベストセラ―になったりするが説明できるように思われる。

もっと色々と書きたいがこれから原稿用紙がついてきたので筆をおく。

人の生き方について ——僕が僕であるために——

学Ⅰ 田 中 邦 彦

僕がボート部において常に考えさせられるのは、ボートの練習や計画以上に、部員一人一人の性格と人間関係である。同じ事にもそれぞれ異なった反応を示す人たち、その人たちが20人集まって、一つの団体をつくっている。この人たちは何を考え、何に喜び、何に悲しみ、そしていったい何のために生きているのであろうか、と。

人は生まれた以上、様々な問題にぶつかる。しかしこれらの問題は、結局はもっと大きな問題に帰されるのではないかと僕は考えている。すなわち、「幸福とは何か」「人間は何のために生きているのか」といった問題である。たしかに自分たちがこの世に生をうけたのは、自分たちの意志によるものではない。従ってこのような問題を考えることなく、なんとなく生まれ、なんとなく生き、なんとなく死ぬ人もいるのであろう。またこのような問題につきあたりながらも、自分なりの結着もつけぬまま、一生を終わる人もいることであらう。

しかし僕は、これらの問題を自分の中で解決したいと思っている。たとえそれが正しい解決でなかったとしても、すくなくとも自分が納得するような目的をみつけ、生き方を実践し、そして死にたいと思っている。人が自分の存在を投射して、自分の生き方を確認する方法は、人によっていろいろあると思う。自分の将来の職業に夢をかける人、現在の政治や経済を憂う人、その他善悪、正誤にかかわらず、自分の信じたものをしっかりと守って生きていく、その生き方は幾つであらう。

僕は昔、中学や高校のころは、今考えると馬鹿みたいな話だが、自分がのし上がるためには、人をけおとさなくてはならない、と本当に思っていた。社会というものは一定の枠というものが決まっているのだから、自分がその中で生き残り、勝ち抜くためには、まわりのものと戦わなければならないと真剣に思い、そして自分にはそれだけの能力があると思っていた。ここで恥ずかしい話だが、好きな女の子にふられるということがなかったら、おそらく僕は今でも、あの頃のように傲慢で、鼻もちならなくて、エリート主義の固まりのような人間であっただろう。ともかくも、たった一度の失恋によって、今まで信じていた牙城が一瞬にして崩れるぐらいの、たわいもない人間だったのである。ではなぜ失恋ごときで自分の考えが崩れ去ったのか。ひとつは自分の能力というものに疑いをもったからであり、ひとつは他人に恋してしまって、他人との戦いという考えにもはや徹することができなくなっていたからである。

しかし自分の信条としていたものが消え去って、何一つするものがなくなったあの頃の生活は今でも顔をそむけたくなくなるくらい、いやなものだった。友人も皆僕と同じ浪人中で、手をさしのべてくれる人は誰もいなかった。みんなが予備校にいったしまったあと、昼すぎに目覚め、マンガ本を読み、昼間からハンバーガーをくいながらあやしげな映画を見て過ごし、夜はゲームセンターでひまをつぶし、夜中2時頃帰ってきて眠る。ただこの繰り返しだった。ここにとても書けないような事もいろいろあった。あの頃は本当になにもなかった。頭も心もからっぽで、どうにでもなれと思い、自分で自分を軽蔑し、憎ん

はいられないし、ひとりよがり生きていく事はできないのだな、という事だった。この考えが、今の僕のいわば出発点となっているのだと思う。

さて、現在の僕は、いったいどのように生きたいと思っているのだろうか。昔から今にかけて変わらないこと、それは僕はどうしても自分というものに自信がもてない、ということである。自分の中に、これという絶対的なものがないので、友人と僕、親と僕先輩と僕といった相対的なものさしで自分の位置をきめてしまうということである。

そして自分から行動をしかけるのではなく、まわりの人の行動や悩みや喜びを見つめ、それを自分にひきつけて考え、その考えによって自分を認識するということである。こういう生き方をしてみると、どうしても人と人との関係、というものに大きな関心がいくし、常に考えってしまう。恋愛にしてもしかり 友情にしてもしかり、他人は他人だとわかっていながらも、どうしても他人との接点をさがそうとしてしまうのである。

そろそろ話も終わりに近ずいた。人それぞれ自分の生きる道があるうし、また今の自分も、10年後、同じ考えをしているとは思えないが、すくなくとも今は、第一に人にやさしく、そして自分に正直に生きたい、と思っている。ただやさしさというのは、他人のすべてを許す、ということではない。その人が明らかに間違っていると思ったら、その人のためにも、まわりの人のためにも、それを直してやる。そういう強さも含んでいるのだと思う。そしてみんなが人と人とのあいだの潤滑油のような存在になれたらいい、と考えている。

そして一番最近考えたこと、人が人を好きになるというのは、普通

の生活では存在しないようなすごいパワーをその人にむけることだと思ふ。しかしいったんその恋が破れると、そのパワーは忽然と消えさり、負のパワー、人につらくあたったり、幸福な人をうらみ、ねたむようになってしまう。その人個人がそれだけのパワーをもっていないが、それを利用してできないのは、本当に惜しいと思う。ひとりの人を好きになって、その人だけを大切に思うのではなく、自分の好きな人に対してむけられる程のすごいエネルギーを、もっとまわりの人にむけて放射して、その人たちの悩みや苦しみや悲しみをすこしでもすくなくすることができたら、どんなにいいだろう。この考えをI君に話すと、彼は「しかしそれは不可能だろうな」といった。またF君は「お前が本当にそう思っているなら思っているだけじゃだめだ。行動しろ」といった。僕は本当に、かくありたい。一日一日を漫然と過ごすのではなく、自分の主義に沿ってその時、その時を精一杯生きたい。強さだけでなくやさしさでもって、他人を動かしてみたい。「僕はパワーだ。今日よりも明日、もっとすごいパワーになれ」と心に念じながら。またしてもくだらない話を書いてしまったが。これを読まれるみんながすこしでも自分たちの生き方を省みる契機となれば、これ幸いである。

今思ふこと

学一 劉 中 誠

昨年同様、部誌の期限はすでに過ぎている。そして今は何を隠そう合宿の真っ際中である。少い自由時間の中で何を書こうかと考えてみるが、話がまとまらないので今現在思ふことを書きつつゆきたい。

僕は昨シーズンの秋からAクルーの整調サイドを漕いでいる。そして昨年は、数回の合宿を重ね、宮城杯、熊長戦と勝つことができた。

冬場の陸トレも、くわしい事は先輩が書いて下さっていると思うが、例年になく力を入れていたと思う。それはそうとして、今年のAクルーは、春合宿が終了した後も、何と夏合宿まで、ずっと合宿を続けるといふ、強行スケジュールを組んでいる。僕は今年、何とか学部へ進むことができたが、四月からはすぐに解剖実習が始まるし、色々と予習しなければならぬ。きつい練習の後で、合宿所で充分に予習ができるか少し不安である。またプライベートな付き合いの時間も限られてしまうし、うまくやっていけるかこれまた不安だ。確かにAクルーというものは、医学ポート部の代表だし、試合で良い成績を納めなければならぬ義務があるし、まがりなりにもAクルーの一員になった以上、勝つために最大限の努力をしなければならないと思う。しかし、僕はAクルーの漕手である前に、医学を志す者であり、一生の自分の職業となるのだから、学生の内にもっと勉強したい。又、僕は何よりも前に一人の男である。好きな女の子がいれば、他の人はそうでないかもしれないが、僕は時間の許す限り、一緒にいたい。それに

友達とも色々会って楽しく過ごしたい。それから……………。

次から次へとわき出てくる。合宿の合間に書いているので、疲れもあり不満が蓄積しているのかもしれない。でもこの不満はずっと消えないかもしれない。もしかしたら僕はAクルーにふさわしくない人間なのかもしれない。不満ばかりになったが、当の自分さえ、これから自分がどうなっていくのかわからない、不安なのである。

これから何ヶ月後、又何年後、この文章を読みかえすことがあるだろう、その時に、自分が今こどくなふうに変っているかいささか楽しみでもある。

最後に僕の好きな言葉をのせてこの文章をしめくくることにしよう。

“Tomorrow is another day.”

駄文をお許し下さい。

M君のすばらしさについて

学I 南 原 成 三

私は今非常にせっぱつまった状態にある。白い、真白な原稿の前にして頭の中がパニックに落ちいつてしまっている。ネタを何にしようかとおろおろと考えている。

「このままではいけない」そう思った私は、この場を借りてある人物について周りの抱いている誤解を解いてみたいと思う。ある人物を略してM君とする。周りの者はM君の顔に表情がないと言いブロンズとか呼んでいる。私はこれはM君が大人物であり心が大きいため物事に動じないためであると考え。またM君は普段何も考えていないよ

うに思われている。しかし私は本当のことを知っている。M君は決して何も考えていないのではないのである。M君は普段ボーッとしている時には、「人生をどう生きるべきか。」「人として自分は何をすべきか。」という非常に高尚な思考をしているのである。だから私はM君を見ていると、思考が服を着て歩いているような錯覚に落ちいることがある。彼はまるでブツダ（さとりをひらいた者）となる前のおしゃ力様のようなものである。この文章を読んで皆目からうろこがおちた気分分M君をながめるに違いないと思う。

HUNGRY SPIRITS 留年編

教Ⅲ 福 井 雅 士

読者諸君、おそらく君らの中には、俺は留年なんかとは無縁だと信じている人も多いであろう。

しかし、破局は思わぬ所でおこるものだ。心して読んでもらいたい。その日はよく晴れていた。テストも数日前に修了し、生概Ⅱと生化の再試を残すのみ（実はそうでないことが判明する）となっていた僕は、足取りも軽く教養部に向かった。英語の発表を見るためである。英語については、二つともそれなりに出席していたような気がしていた（この「気がする」というのが最も危険）ので、よもや落ちることもあるまいと、思っていた。

教養部の校舎に入るとき、空を見上げると抜けるように青かった。ところが、本能寺の変ならぬ、「語学の変」。しかも後になって判明した独語を加えると、実に3つの語学が落ちていたのである。

それから、大変だった。顔色が変わり、ひたすらうろたえ。「ヒュー」とつぶやきながら、教養部を出た。空の青さがうらめしくなった。

しかし落ちこんでばかりはいられない。電話、嘆願書等に「縷の望みをかけて奔走した。」

なお嘆願書については、友人が作った模範文例があるから、参考までに後ろに記すことにした。

電話、嘆願書等が結局無駄に終わったことになっても、再試の勉強はしなければならない。ここで変にあきらめが良いことは、決して良いことではない。留年するにしても、一科目でも少ないにこしたことはないのだ。

自分の場合、先輩の激励で氣をとり直しおかげで再試はそれなりにとれたと思う。

要は、あきらめてはダメなのである。最後まであぐ。これが大切なのだ。賢明なる後輩諸君。語学だけでは出席し給へ。目をつぶっててもいいから、教室に足を運び給へ。さもないと、後で泣きを見ることになりますぞ。

今年度教養2年生諸君の健闘を祈。

（嘆願書模範文例）

御忙しいところ、誠に申し訳ございませんが、〇〇先生の〇〇の成績の件につきまして御願ひしたいことがあり筆を執らせて頂きました。（事情説明）。このままでは進級不可能となってしまうのではないかと心配でなりません。何とかもう一度、再評価のチャンスを頂けま

せんでしょか。〇〇でもレポートでも何でも致します。どうか、どうかよろしく御願い致します。どうか私に、四月から専門課程へ進み解剖実習を受けられるチャンスを御与え下さい。このようなことを御願する非礼は重々承知しておるつもりですが、このまま留年となってしまうことはまさに断腸の思いと言う他はございません。いても立っても居られぬ気持ちで筆をとった次第です。

私、思うところあって医学の勉強を志し、この長崎大学へやってまいりました。たったひとつ医学の勉強がしたいという夢を抱いてやってまいりました。しかし、もしそれが留年ということになりますと、私の置かれている経済的その他の事情の厳しさにより、もはやそのような希望が完全に打ち砕かれてしまう恐れが大なのです。

非は私にあり、それ故、何らかの罰を受けねばならないのも当然だとは思いますが。しかし、私にとって留年という罰は全てを失ってしまうことにつながるのです。

どうか、どうか重ねて御願い致します。何とかもう一度だけチャンスを与えて下さい。それで必ず上げてほしいなどとは申しません。ただ、ただチャンスだけを頂けませんでしょうか。心から御願い申し上げます。

近日中に御相談に上りたいと存じますのでよろしく御願い致します。どうか事情を御汲み取り下さいまして、もう一度、私にチャンスを御与へ下さい。

乱筆乱文どうか御許し下さい。

「我ながらかわいい自分」

教Ⅱ 黒 木 保

私は酒が好きであるという幸福者である。ここで粋な酒の作り方を教えます。健康第一という人には、卯入ビールをお推めする。

「評決」でポールニューマンが飲んでいたのでこれだ。ビールの苦みが消えて実にマイルド。後輩に悪酔いさせたい時には、テキーラ8にビールを2の割合でシェイクさせたものが良く効く。しかし本物の飲り方は、ミスター・スミスの如くストレートで飲む事だ。今もジョニ黒をなめながら書いている最中である。

私は〇〇であるという不幸者である。

これは、元を正せばT君のせいなのだ。S、M両君は、しかたないにせよ私に初めて訪れたチャンスをもっていかれたのだ。おかげで私は、夢の中での松本典子といい所まで行きながらも、かんじんな時にぼやけてきて、すっきりとしないまま目を覚ますのだ。しかし、メンタルな物を目指して〇〇気分をまぎらわしている今日このごろである。

私はいじめられるのが好きな幸福者である。私はこの部で一番のいじめられっ子であるという自負がある。入部したての頃は、いじめられると良く頭にきていたものだった。それからしばらくすると、私に對するいじめは、先輩達の愛情表現ではなからうかという思いきったかん違いをしてしまったのだ。本当はただ単に、本物のいじめられっ子だった訳だ。しかし、いじめられるというのも、なかなかおつな物であると、開き直っている私自身がかわいい今日この頃でもある。

私は合コンのつてをつぶすという不運者である。つてをつぶすには、活水——一つの合コンで二人の女とデートの約束をする。ただし必ず電話番号は、一方の女がトイレに行った時に、トイレの前に待ちかまえてトイレで聞くこと。

純心——オランダ村へ行き千三百円しか使わずに口もきかない。(これはただ単に相手がヤンキーOGであったためこちらがビビッていた。)

女短——一晩に、第二陣、第二陣と合コンをしたにもかかわらず9時には帰ってしまう。(これは、女の娘同志の「カワイイ」を信用したために招いた悲劇)

葉学——葉学の近眼の娘が、長大祭でできた某I先輩を私と完全に勘違いしていた。その後私の葉学での評判は、すこぶる悪い。私は、「さえた」友達がいる幸福者である。Sはたいへんさえている。ドイツ語の講義の一時前であった。せつかくドイツ語を学ぶのだから気分もおもしろいドイツしょうぜということになり、とりあえずビールとチーズを食した。その後赤い面と酒くさい息で教室に行った。そういう私達にF教授は近よろうとはしなかった。その三十分後に〇〇をはいたという事は、当然の成り行きではあっただろう。又、私の飲み友達には、五人も警察のお世話になった奴らがいる。

私は、調子がいい愚か者である。生まれた時から調子いいとは私の事だ。調子のいい奴になるには必殺三パターン攻撃は必須である。「かんべんして下さいよ」「お願いしますよ。」「しぶい」である。この中でも「しぶい」一つがあればこのポート部では、生きていける。私は、朝食をしっかり取る人間が好きである。コーンフレークのか

わりに、ポテトチップスに牛乳をかけて食べるのもなかなかおつなものである。あしたの朝は、日本人らしく白飯に牛乳をかけて食べようかなどと考えている、我ながらかわいい自分であった。

「僕がその事について知っている 二、三の事柄」について

佐藤 俊一

「列車事故・誕生日」

二月二十六日、Sは東京から長野へ帰る途中で、上野発金沢行白山三号に乗っていた。隣の席には銀ブチの眼鏡をかけた、見ただけで気分のわるくなるような少年がすわっていて、彼が上野駅で買ったミルクドーナツとジュース（二百五十円）を食べようとすると、じろりとにらんだ。

高崎を過ぎたあたりで車掌が検札に巡って来た。Sは恵比寿から百五十円区間の券しか持っていなかったので長野までの乗り越し分特急券、乗車券を買わなくてはならなかったのだけれど、Sの財布の金は二百五十円その金額に足りなかった。Sは軽井沢からは普通電車に乗り換えなくてはいけなかった。軽井沢では既に普通電車が待っていた。上田を過ぎた時には大分客ものっていて、窓際に席をとったSの周りには読み古した教養文庫らしき本と読む男（仮称K）が正面に、右斜前には和とじの本を読む一見労働者風の爺さん（仮称J）右隣りにはこれもまた目にちかづけたり遠ざけたりして本を読む男（仮称T）がすわっていて、あと通路を隔てた右隣には、その話の内容から教師とわかる四人組がいた。

電車が篠ノ井を発車した。あと五分ほどで長野に着くな、と思っていると急にガツンというちょっとしたショックがあつて電車が止まった。信号で急ブレーキでもかけたのかなと思っていると、右隣の四人

組がきつと飛び込みだと言った。そのうち一人が窓からのぞこうとしたが、他の一人に見えない方がいいよ、きつと血だらけだ、と言われてやめた。

一分ほどすると車内アナウンスがあつて踏切で事故があつたことを知らせた。すると、Kが急に口を開いて、またかよ、早くしてもらいてえな、と言ったがその顔は迷惑そうというよりは、むしろ嬉しそうだった。だれかが電車の窓を開けた。サツと冷気がさしこんだ。見える、見える、白い車が見える、と言っていた。みんなが窓のところにあつまった。右の四人組は、電車の前、後へと走っていつて手分けをして調べていた。Sの周りのK、J、Tは、みんなかばんのジッパーを開けたりしめたり、本をしまったり、眼鏡を外したりして、ソワソワはしていたが、見には行かなかった。しかし、五分程するともう耐え難くなったらしく、まず、J、そしてK、Sの順で見に行った。Sは窓からのぞいて見たが何も見えなかった。JがKに、自分は何も見えなかったが何かみえたかと聞いた。Kは何も見えなかった。三十分はかかるだろう、と言った。遠くでたれかが、一時間はかかるよ、と言った。

まもなく救急車が来て、電車に救急隊員が乗りこんで来て、けが人があつたかどうか聞いた。みんな口々に何ともない、と言っていた。

事故が起つてから二十分程して電車が動きだした。右の四人組が、最近事故が多いね、今年これで三度めだよ、しかしこの前の事故はひどかった、辺り一面血の海だったもんなあ、などということをも嬉しそうに話していた。列車事故という一般的には悪いイメージをもつものか、この列車の中では、てしどばらばらと

に結びつけ、少なくとも電車が何事もなく長野駅についたときよりもその車内を明るくしたことに、Sは感動した。

「青い蝶・えんとつ」

僕は青い蝶が好きです。青い蝶は人の血のように鮮やかな青い色をしてそのエネルギーをみなぎらせて紫の藤の花の下を飛んでいきました。

死と感じさせるものに煙突があります。灰色の町にある物はまだしも、高原に立つ煙突は怖ろしいと思います。

今日の日はさようなら

津 田 純

私は旅が好きです。北は宗谷岬から、南は佐多岬まで行ったことがあります。どこかへ行くときはひとりで行きます。私にとって、どこかへ到達することはどうでもいいことです。だから行先はどこでもよいのです。北海道の田舎は、道しかありません。そんな所へ行くと、子供のころ外で遊んでいたら暗くなってしまう、小走で帰ったときのような孤独感が味わえます。心細くてしかたなく帰ります。雪が降っていれば文句なしです。車が動かなくなったら死んでしまう。人の住む所へ逃げて帰りたくなります。私は、もちろん逃げて帰ります。情けないと自己嫌悪しながら。ひとりになりたかったはずなんですから。このごろ、日本はどこへ行っても同じだと思ひ始めました。私のカメレオンばりの適応力のせいだけではありますまい。初めて行った土

地で、どこかで見たなという感じを持ったことがありますか。また、初めてやることをしながら、いつかしたような感じを抱いたことはありませんか。これは、何ともやりきれない、いやな感じです。今、私は超越する必要を感じています。この前、ボーボワールの本を読んでいたら、『わたくしは物ではなく、自発性なのです。希望し、愛し、欲望し、行動する自発性なのです。』と書いてありました。実存主義はどうあれ、少くともこれは真理です。自分の圏内からはじけ出たい。命を燃やし、何かを勝ち取りたい。

ボート部に入って良かったと思うときは、必死に漕いで、もう限界だと思ふ瞬間です。頭の中がからっぽになり、何も考えることができなくなってしまうときです。刹那的には得ることのできない快楽が訪れます。苦しくて、だるくて、気持ち悪くて、何とも言い難い変な心地は他では得られぬものでしょう。ボートには麻薬的要素が有ると思っています。

さて、結論ですが、何を言いたかったのか、のみならず何を考えようとしているのか、わからなくなってしまうました。きっと、麻薬に犯されいるせいでありましょう。

「道産子の私は旅行大好き」

教 II 中 野 基

旅はいい。見知らぬ町を歩いて、見知らぬ物を見聞きし、見知らぬ人と出会う。旅は大きな財産となる。学生時代は借金をしてでも旅に出るべきだ。昨今、自分の身の廻りを豊かにすることだけに金を使う

学生が多いことは実に嘆かわしい。かっこいい洋服を着て、それなりの女の子と日曜日ごとにデートをし、CDプレーヤーを買ったと言っ
ては、最近、無理をして入ったマンションに女を連れ込み、乗りのいい音楽の催眠術とスコラで覚えた話術でその女と一発やって、それを学生生活の究極の目標に据えてしまう、つまらない人間の何と多いことか。卒業してからはできないこと、後々、心に残るような一生の財産を、自由な時間があり余っている学生時代に蓄わえるべきである。

旅行をしていて特に楽しみなのは、その地方の市場へ行って、どんな魚類が並んでいるかをじっくりと観察することだ。

青森駅前左側がリング市場になっているが、その奥は魚や野菜や忽材が所狭しと並ぶ普通の市場になっている。僕の得意とすることに、店のおばちゃんとすぐに仲良しになることがあるが、その魚屋でも冗談を言い合う間柄にまでなったのに、サメの頭の話になると笑ってごまかされて、教えてもらえなかった。店先にサメの頭だけドテンと並んでいるのだが、それをどうやって食べるのか僕は興味を持ったのだ。その後、予備校で知り会った青森県人に甘辛く炊いて食べるのだと聞いた。その風習は山形県庄内地方にもあって、「オラ、フカ嫌れえだ。」と鶴岡出身の男が言っていた。

長崎に来て思ったのは、売っている魚の大きさが北海道のに比べて小さいことだ。アラカブなどといって、あんな15センチぐらいの雑魚が大切そうに魚屋のプラスチックのザルの上に並べられていることが、なんてせこいんだろうと最初思われたが、けっこうこれが旨い。きびなごの刺身がハマチとそっくりな味なのにも驚いた。

先日、倉敷から米子、出雲大社、萩、秋芳洞を青春18キップを使っ

て旅してきた。

3月8日、12時36分発の鈍行で長崎を発つ。前夜、OB会があり、おそらくは帰宅が午前2時、3時となると予想されたので、出発が危ぶまれたが、先生方同志でサッサと飲みに行かれてしまったため、現役部員は取り残され、今回の旅立ちとなったのだ。後日、青木さんだけがスッキリするいい目を見た聞いて、これは石にかじりついても卒業するまでポート部員として頑張るっきゃないと決意する僕である。5年後のそのときには、末永先生、よろしくお願いします。

夜10時48分広島着。 々10時間、列車に乗りっ放しであった。着いた方がいいが、宿を捜さねばならない、カプセルホテルに決めて葉げん堀でキョロキョロ捜していると、「お兄さん、お風呂行くんでしょ」と、ジャンパー姿のいさんに声をかけられまくった。カプセルホテルってところはプライバシーが守れない。なぜなら、スタレのようなものが扉であるからだ。それに放映しているエロビデオが10年前のものとか思えない年代物で、寝る前の仕事の一つ減ってしまった。翌朝、平和公園、原爆ドームを見たが、すさまじかった。20分程じいっと眺めていた。

広島では街行く女の足が良かった。長崎に来て悲しかったのは、娘達の足首が皆んな異常に太いことであった。やはり本州の人間とは人種が違うのであろうか。広島の子の足は僕の追い求めていたものだ。じろじろと見溜めをした。

倉敷では大原美術館の見学だけだったが、絵に対する教養がない僕にも名画はズンズンと迫ってきた。芸術は人の心に感動を呼び起こすことを体験により知った。晋さんは日頃「センスで漕ぐ」と言っている

が、センスとは芸術家の宝刀であり、いわば晋さんが引つ張るCクルーは漕艇家を目指していると言えよう。いつの日か晋さんが、僕らに感動を与えてくれるときが来るだろう。

僕はたびたび田舎町に住む人々を思いやることがある。やはりテレビが、爆発しそうな都会への羨望を増大させ、また、なぐさめているのだろうか。NTTのビルが町で一番高い建物という田舎町で、子供達は何を楽しみに学校に通っているのだろうか。ここにはデパートも遊園地も動物園も何もない。岡山県の新見の町は、そんな若い医者が赴任して半年といられぬ、山に囲まれた、住民皆んなにどこかのんびりしたところが見られる町であった。

冬の日本海はいい。ビューと横なぐりに雪が走り、海猫が強い風と戦う。悲しい気分には浸るならやっぱりここがお勧めだ。

秋芳洞に向かうバスの中で、僕は三輪自動車を見た。切り出した竹を運んでいるところで、鉢巻きをした色黒いおやじが3人、ニコニコして行き過ぎた。中に丸い眼鏡をかけたひげの濃い歯抜けおやじがいた。

旅はいい、次は沖縄へ行ってみよう。

入学まえ

教Ⅱ 南 恵 樹

昨年の春、長崎大学の医学部というところに入学してしまった。そして今、何もしていないに等しい様な大学生活というのをやっている。毎日毎日、一歩ずつ、自分でも手にとるように、学力が低下している

のがわかる。果たしてこんなことをやっていてよいのだろうか。と、心の隅の方で思っているながらも、その大学生活を満喫してしまっている。

一年前は、浪人生活をやっていた。そう、巷では、暗く、ジメジメしたイメージのある予備校で過ごしていた。というのも、その年の受験で、T工業大学の第四類というのに、いやがられてしまい、入学しようという意志に反して、相手に逃げられてしまったのである。四月、予備校の入学式が、小倉市民会館というところで、盛大に催された。このときは、来年こそ、T工業大学に入ってやる、と意気込んでいた。が、何をどう間違えたのか、二、三ヶ月の間に、工学から医学へと、今思うと自分にとって、意識上の明治維新ともいうべき変化が起ってしまった。予備校、浪人生活とはいえ、私の通う予備校は、まるで高校四年生のようなものだった。クラス80人の中の半分以上は高校の友達ばかりだったのである。朝七時半、予備校に入り、タイムカードを打つ。サラリーマンの様に……。そして、本の一冊も備えていない5階の図書館へ行き自習をする。午前中は必修の授業で、午後は選択授業。午後5時ごろからは自習の時間となり9時まで自習をする。というのが、予備校側の理想の予備校生なのだが、私は、8時ごろ行き、昼で帰ってしまい、帰宅途中で、娯楽遊戯場や、喫茶店などに行くという、規則正しい生活を送っていた。模範的に悪い予備校生だった。そして、あれこれしているうちに、月日は矢のように過ぎ去ってしまい、共通一次試験が目前に迫っていた。私は焦りまくったが、無情にも一次試験はその蓋を明けるのであった。私は、北九州大学というところで受験することになっていた。この時初めて、小倉駅前からモノ

レールぐらいで舞い上がるまい、と思っていたのだが、また舞い上がってしまい……。一次試験も無事でもないが終わり、大学を出ると、優しい笑顔で迎えてくれる予備校講師陣が居た。また今年も教えてあげよう、と暗示しているかのようだった。その後、国立大学二次試験の願書を、いろいろと受け取った。私は、講師陣の優しい笑顔を思い浮かべながら、長崎大学の願書に、共通一次の受験票の一部の紙を貼った。二次試験の前に、私立大学の入試がある。一応、K大を受けた。ほとんど受験旅行は、観光旅行と化してしまっていた。教室内では、新聞紙大の解答用紙に圧倒され、また、オカマのような話し方の江戸っ子を白い目で見ている。ちっとも粋ではない。などと思いつながら、旅費と受験料を無駄にしてきた。3月といえば、二次試験。また舞い上がりながら、初めて長崎を訪れる。入学案内の表紙の写真とは違い、妙に小さい長大キャンパスを見てガッカリした。まさかこの大学に通うようになるとは夢にも思わなかった。が、夢のように合格して入学したわけである。これが、ここ2、3年の私の出来事なのです。と、何の意味もないことを、取り留めもなく書いてきたが、最後に、一言「これからのポート部を支えていくのは、俺だ!!」などと、心にもないことを書いてこの文を締め括りたいと思う。

(終わり)

〈特殊年中行事報告〉

ボート部の芸風の変化について

岡 野 邦 彦

大学の運動部につきもののなのが、練習後や試合後の飲み会でおこなわれるバカ騒ぎと酒乱ぎみの芸である。練習で抑圧されていた精神力とボートで培われた爆発的パワーは、酒を飲み、大脳の抑制から解放された今、その力をいかに発揮する。最初ボート部に入ってきた時はその雰囲気にとまどい、そしてしばらくたつと、それが非常に楽しいものであることがわかり、自分も参加するようになった。しかし、今考えてみると、そのころの飲み会はまだかわいいものだった。当時はまだ酒場での一気飲みという風習がまだなかったせいもあるが、最も大きな原因は、過激な飲み会を一度経験してしまうとより激しい物でないと以前と同じ快楽が得られない、いわゆる耐性が皆に備わってきたからではないかと分析する。

昭和59年、ある男が入部してきた。この男を仮にIとしておこう。この男、酒を飲むとやたら裸で踊り出す。なかなか根生のあるやつと思ひ。 (そのころ、僕はまだ、裸になることは根性がなければできないと思っていた。) 僕らもおもしろがってほれほれほれ、とやらせていた。試合後や新年の飲み会などで自分の抱負を語り、何か芸をやつてゆくのであるが、会が進んでゆくに連れ周囲も次第にエキサイトしてゆくわけで、少なくとも前の人よりは周囲を沸かせる芸をしなけれ

ばならない。このIのあとの男はもう大変である。へたな歌でも歌おうものならまず周囲は黙ってはいない。もともと裸で踊るといのはいわゆる個人芸と違って誰にでもやろうと思えば出来るが、それをやるにはかなりの覚悟がいる。従ってボート部ではうける度合としてはかなり上の入試の偏差値でいえば東大理工ぐらいの価値があった。しかし、この男が入ってきて裸踊りを繰り返すうちに我クラブの芸全体が激しさを増し、体をはってそれなりの芸をしなければならぬ戦国時代へと突入したのである。昔のプロレスがドロップキック一発でけりがついていたのに、今はウエスタンリアットからサソリ固め、そしてバックドロップとつないでフォールをとらないと観衆が納得しないのと思ひである。

ではここで、それなりの芸とはどのようなものか分類解説してみよう。

① いわゆる普通の芸

物まね、一瞬芸、かえ歌など。しかし、先ほども述べたように、この部類に属する芸はかなり洗練されみがかれたものでなければ一気飲みなどのオマケがつくのは避けられない。会がエキサイトする前に繰り出すのがこつ。間違っても裸踊りの直後にトレーナーで遊んだりしてはいけない。

② とにかく酒を飲む。

これは、周囲の人間が見て特に楽しいものでもないが、これだけのものを俺は飲んだという根性と心意気を周囲に訴えかけるわけである。しかし、あまりこれを多用すると周囲はまだ酔ってないのに一人だけ、ここはどこ、私はだれ、ということになってしまふので注意。A君元

祖の水を焼酎と言ひ張り、顔をしかめながら飲むという手もあるが、今ではもう通用しないであろう。

一気飲みゲーム性を加えたものにI氏の「ドレミの歌」なるものがある。これは、8つのコップにあらかじめビールを注いで並べておき、ドレミの歌いながら次々と飲んでゆくというものである。しかし、彼は「ラ」のあたりでビールを口から逆噴射していたのでかなりきつかったのだろう。しかし、彼が教養生の時、いきなりやってしまった「焼酎二杯一気して、腕立て伏せ30回やります。」に比べればかなり工夫が盛り込まれた芸と言えよう。

③ 裸になる

最も簡単で誰にでもできる芸。「炭鉱節」をバックに踊る。いかに羞恥心を捨て去ることができるかがポイント。あまりしつこくやると、キャプテンからビンタをはられることがあるので注意。

④ 下ネタで迫る

かえ歌「迷子の迷子のマリコちゃん」や男にしかできない瞬間芸「ちょんまげ」「ぞうさん」「ムササビになったタヌキ」などが代表的。皆がかなり酔った所で繰り出すと会は異常な盛り上がりを見せる。

⑤ 一気ぐい

沢山食べるか普通の人間が食えないものを食うかの2種類に分けられる。間違っても食べられるものをほどほどに食ってはいけない。前者は、OBの先生方の面前でT君が披露した「中華まんじゅう三コ一気食い。」後者には「ドレッシング一気食い。」「先輩の陰毛入りビール一気。」など。

カルガモのように従え会場をねり歩き、その幕を閉じた。しかし、このIも61年入学のK（通称カテーテルのK）の出現で最近では目立ちにくくなりつつある。時の流れを感じる今日このごろである。

私は基本的に騒ぎながら楽しく酒を飲むのが好きである。しかし、最近は、学年も上になり、抑え役の方へまわることの多くなったことに一抹の淋しさを覚える。一昨年の夏合宿、Iと共に裸で国道へ向って走っていったことが今ではなつかしく思い出される。

医学部 漕艇部 各位殿

長崎大学漕艇部練習中における医学部漕艇部所有のナックル艇「おおよど31号」の水没事故の御報告と事後対策について

去る五月十四日医学部漕艇部所有の「おおよど31号」を拝借して練習中高波により艇が水没し、さいわい乗員五名は無事でしたが、同艇を破損する事故を引き起しました。ここに、医学部漕艇部の皆様に対して深く御詫び申し上げるとともに、救助にあたって下さいました同漕艇部の皆様に、心から感謝申し上げます。なお、事後の処理につきまして、私どもの今後の方策を述べさせていただきます。

事故報告

五月十四日(木) 午後六時四十分 医学部漕艇部のナックル艇「おおよど31号」を借用して、臨海研修所を出艇。九州朝日レガッタ(五月二十三、二十四日)も近いため、大学のシエル艇二艇、医学部のシエル艇二艇も出艇し練習中であつた。前日よりの雨は午前中にあがり、午後からは晴天も広がって快晴に近かつたが、北の風が強かつた。

午後六時五十分 前島に沿って黒島寄りの沖へ出たが、風、波とも更に強まり、漕艇は困難となつた。

午後七時 波がやや静まつた時を見計らつて方向を変換す。

午後七時五分 追い波を受け舷側から打ち込む波のため浸水し、間もなく水没、その後一時間艇に掴まり漂流す。その間、全員で水につきかりながら艇を押して、前島の岬方向へ向かう。一旦は岬に近ずいた

ものの、風と潮により流されて、岬を通り過ぎた。

午後八時二十分頃 研修所の管理人佐藤氏の船に救助さる。それまでは、乗員も艇も無事であつた。Ravver が全員助けあげられたのを確認後、Ox がラダーともやい綱を渡して船にあがつたが、気付いた時には、もやい綱は救助船上になく、艇は一艇身程離れていた。Ox が飛び込もうとしたが、波が高く、疲労も激しかったので、人命の安全が保ち難いと押し止められ、乗員を陸にあげてから曳航にくることになり、救助船は一旦研修所へ向つた。乗員を上陸させて、直ちに佐藤氏が他の部員とともに、曳航のために引き返したが、暗夜と波浪のために艇を発見し得なかつた。

翌十五日早朝、夜明けとともに探しにでかけ、田の浦海水浴場の近くの岩場にて艇を発見し、曳航して戻つた。

艇の損傷

艇首部および艇尾部 外板および竜骨材が岩礁に削られ破損。

艇中央部 外板破損により開口、二箇所。

事故原因と反省

原因としては、風、波に対する認識が甘かつたこと、従来ナックル艇は沈まないという先入観があつて安全性を過信し安全対策が不十分であつたこと、風向と潮流の方向が反対で潮波がたち、予想外の波高となつたこと、などであると思います。

出艇前に帰艇の予定時刻を告げておきましたが、残留部員も艇の沈むことを予想できず、帰艇のおくれをあまり気にしませんでしたので、救助船を依頼するのが遅れました。そのため、明るいうちに救助されず、乗員の疲労も増大し、部員救助後の艇の搜索で艇は発見できず、

艇の破損という事態になってしまいました。

今後の練習には、二度とこのような事故を起さぬよう、今回の事故を教訓として、海の恐さを知り、風や波に対する知識と注意を深め、特に安全対策を徹底しなければならぬと、深く反省致しています。

尚、今回の事故に際し、研修所の佐藤氏が乗員の救助や艇の搜索のため、暗夜危険をも返り見ず献身的な御尽力をして下さいました。御蔭で人身事故を未然に防止できたことは不幸中の幸でありました。この場を御借りして厚く御礼申し上げます。

事故後の処置と「おおよど31号」の修復

医学部漕艇部は大会が迫っていることもあり乗艇練習を必要としていたので、我々は長崎県漕艇協会との連絡を取り、借用できる艇の有無について相談しました。大村高校と大村園芸高校の艇が借用できることになりました。場所が離れていることもあり、子々川へ移送することができず、使用時間が限定されるため、結局、貴部は試合前に乗艇練習をすることが出来ない事態になってしまいました。重ねて深く御詫び致します。

尚、ナックル艇「琴海号」を修理し、県競漕大会（六月七日）前の貴部の練習に間にあわせるべく、極力努力致します。

「おおよど31号」の修復は、損傷がひどく修理はかなり困難とされますが、OB御寄贈の艇ですので、修理と中古艇の購入の両面について検討しています。費用その他の点で修理不能ならば、中古艇の購入を考慮しています。この点については、長崎県漕艇協会にお願いして、今年の沖縄国体の払い下げを受けられるよう働きかけ、また、近

無に関する情報の収集に努めます。修理または購入に要する費用は、長崎大学漕艇部OBに協力を依頼し、募金活動をする計画です。

ナックル艇は練習用として、部員数に対してどうしても二艇は必要ですので、学生部に新艇の購入を申出ています。しかし、予算の関係で早急な購入は困難とのことですので、今後継続して予算要求をしていただくよう御願ひしています。幸にして新艇が購入されましたら、貴部とともに有効な利用方法を協議して決めたいと存じます。

以上により報告を終わりますが、今後二度とこのような事故の起らないように充分配慮し、今後とも、お互いに仲良く、協力し、切磋琢磨してゆきたいと存じておりますので、宜敷く御支援の程御願ひ申し上げます。

昭和六十二年五月三十一日

長崎大学漕艇部 部長 中嶋 裕昭

長崎大学医学部漕艇部OB会 昭和61年度会計報告

(収 入)

前年度繰越金	85,266 円
OB会会費・御寄付	640,000 円
利 息	1,982 円
収入 計	1,494,646 円

(支 出)

ナックルフォア運搬費+代金	128,800 円
モーターボート検査	12,300 円
漕艇保険	48,880 円
シングルスカル修理	45,400 円
九州朝日・県漕出艇料	85,000 円
西医体エントリー	80,000 円
西医体遠征(琵琶湖)・インカレ遠征(戸田)	300,000 円
艇部品、オール(5本)、リガー(5本)	537,065 円
OB会資料作成	5,340 円
切手・雑費	7,335 円
支出 計	1,250,120 円

(本年度繰越金)

(収入-支出=) 244,526 円

長崎大学医学部漕艇部OB会
昭和62年度予算案

(支出予定)

九 山 (長崎)	100,000 円
九州朝日 (遠賀川)	100,000 円
西医体 (遠賀川)	300,000 円
備品購入	400,000 円
漕艇保険	50,000 円
漕艇協会登録費	40,000 円
通信費	50,000 円
雑 費	100,000 円
計	1,140,000 円

(収入予定)

OB会費、及び寄付	1,500,000 円
繰越金	244,526 円
計	1,744,426 円

長崎大学医学部漕艇部昭和 61 年度会計報告

(支 出)

◇試合遠征費（交通費・宿泊費・食費等）

九 州 山 口	391,600
九 州 朝 日	367,340
西 医 体	787,760
イ ン カ レ	300,000
宮 城 杯	21,640

◇試合エントリー費

九 州 朝 日	50,000
県 漕	35,000
西 医 体	77,804
イ ン カ レ	20,000
宮 城 杯	15,000

◇合宿費（食費・宿泊費等）

春合宿（山大遠征を含む）	300,722
夏 合 宿	272,484

◇艇 運 送 費

西 医 体	200,000
宮 城 杯	25,000

◇ナックルフォア購入費

128,800

◇艇の部品・修理・オール・工具等

617,055

◇部車管理費

131,980

◇モーターボート管理費

12,300

◇ガソリン代

249,745

◇艇 の 保 険

48,880

◇部 誌

62,000

◇雑 費

168,570

計 4,293,960

(収 入)

◇学友会よりの援助	30,000
◇部 員 負 担	
部 費	463,000
そ の 他	2,359,000
◇OB会から援助	1,237,445
◇そ の 他	44,273
◇前年度繰り越し	160,242
計	4,304,240
残 高	10,280

長崎大学医学部漕艇部OB会会則

第一条

本会は長崎大学医学部漕艇部OB会と称する。

第二条

本会の事務所は、長崎大学医学部漕艇部内に置く。

第三条

本会の目的は、漕艇部の円滑な運営の為に、精神的、物質的な援助を行ない、あわせて部員の身体の練成ならびに人格の陶冶を図り、会員相互の親睦をはかるものとする。

第四条

本会は、漕艇部のOBからなる一般会員ならびに本会の趣旨に賛同する賛助会員をもって組織する。

第五条

本会に左記の役員を置く。

(1) 会長一名

(2) 副会長一名

(3) 顧問若干名

(4) 総務若干名

(5) 会計監査一名

第六条

会長、副会長、総務、会計監査はOB会において互選し、顧問は、会長が委嘱する。

第七条

役員の任期は、一年とする。ただし、再任は妨げない。

第八条

漕艇部顧問教官は、OB会に出席し、部の事情を説明しなければならない。

第九条

総会は、年に一度これを開くものとする。

第十条

本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

第十一条

本会の会費は、一般会員より徴収し、会費は年度ごとに総会において決定する。

第十二条

本会の会計年度は、毎年四月一日より始まり翌年三月三十一日に終わる。

第十三条

本会の予算、決算は、総会の承認を得なければならない。

第十四条

本会には左記の帳簿を備える。

(1) 会則

(2) 会員名簿

(3) 会計簿

第十五条

会則の変更は、総会の承認を得なければならない。

付 則

この会則は、昭和五十四年四月一日から施行する。

(昭和五十五年三月二十二日改正)

琵琶湖周航の歌

小口太郎 作詞／作曲

我は海の子 さすらいの 旅にしあれば しみじみと

昇る狭霧や さざ波の

滋賀の都よ いざさらば

松は緑に 砂白き 雄松が里の 処女子は

赤い椿の 森蔭に

はかない恋に 泣くとかや

波のまにまに 漂えば 赤い泊火 懐しみ

行方定めぬ 波枕

今日は今津か 長浜か

瑠璃の花園 珊瑚の宮 古い伝えの 竹生島

仏のみ手に 抱かれて

眠れ処女子 安らけく

長崎大学医学部漕艇部OB会役員名簿（昭和61年度）

	氏 名	住 所	〒	電 話 番 号	
名誉会長	青 木 義 勇	長崎市西山町 1-350	850	(21) 1874	細菌学名誉教授
会 長	村 上 文 也	〃 平野町 1-25	852	(47) 5132	開 業 医
顧問	宮 城 重 信	〃 築町 3-1	850	(23) 2494	開 業 医
〃	須 山 弘 文	〃 横尾町 2-4-5	852	(56) 1321	前法医学教授
〃	高 久 功	佐世保市瀬戸越 2 丁目 13-8	857-01	0956 (49) 3859	前眼科学教授
〃	尾 崎 正 若	西彼杵郡長与町高田郷字木場 151-25 自由ヶ丘団地 16 号	859-01	(57) 5550	第 2 薬理教授
〃	山 口 光 次	長崎市昭和町 882	852	(44) 5272	県漕艇協会理事長
〃	吉 田 恒 雄	〃 矢の平町 2-19	850	(25) 4979	県漕艇協会
世話人	谷 川 宗 生	〃 虹ヶ丘町 18-15	852	(57) 1294	長大第 3 内科
〃	田 川 泰	西彼杵郡長与町嬉里郷 98-12	859-06	(87) 1391	長大第 1 外科
〃	出口 正 己	長崎市平野町 22-14 ポンヌール平野町 204	852	(47) 1896	長大形成外科

長崎大学医学部漕艇部OB会賛助会員名簿（アイウエオ順）

氏 名	住 所	〒	電 話 番 号		卒業年次
青 木 義 勇	長崎市西山町 1-350	850	(21) 1874	長大細菌学名誉教授	S 6
井 上 満 治	〃 岩屋町 511	852	(56) 2711	開 業	S 19
岡 本 英 雄	島原市湊道町 2 丁目 7024	855	0957 (62) 2452	〃	S 7
片 伯 部 貢	長崎市扇町 2-22	852	(44) 3043	〃	S 17
片 峰 大 助	〃 愛宕町 3 丁目 11-7	850	(24) 3312	長大熱研寄生虫学名誉教授	S 14
佐 藤 安 雄	〃 本石灰町 5-11	850	(22) 0321	開 業	日 大
鈴 谷 悦 堂	〃 緑ヶ丘町 1341	852	(46) 2052	〃	S 19
城 谷 勝 明	〃 諏訪町 6-23	850	(22) 6831	〃	S 20
高 木 聡一郎	〃 今博多町 37	850	(24) 0590	〃	S 20
高 久 功	佐世保市瀬戸越 2 丁目 13-8	857-01	0956 (49) 3859	長大眼科学前教授	東 北 大
田 中 敏	長崎市住吉町 3-11	852	(44) 1770	〃	S 16

氏 名	住 所	〒	電 話 番 号	業	卒業年次
宮 城 重 信	長崎市築町 3-1 自宅 万才町 3-22 船津ビル F602	852	(23) 2494	開 業	T 14
村 上 文 也	〃 平野町 1-25	852	(47) 5132	〃	S 20
村 田 晨 六	〃 平野町 22-21	852	(44) 2460	〃	S 14

長崎大学医学部漕艇部OB会一般会員名簿

氏 名	卒業年次	1. 勤務先・勤務先住所	2. 現住所	3. 帰省先	〒	電 話 番 号
石 橋 盟 士	S 30	1. 石橋整形外科病院開業 2. 長崎市中国町 22-17			852	0958 (45) 6181
大 須 賀 浩	S 30	1. 大須賀医院開業 2. 長崎市弁天町 17			852	0958 (61) 3576
木 谷 郁 博	S 30	1. 木谷医院開業 2. 長崎市大浦町 8-16			850	0958 (22) 2964
清 水 武	S 30	1. 榛原総合病院：静岡県榛原郡榛原町細江堀ノ内 2. 静岡県榛原郡榛原町細江 3721-1			421-04	05482 (2) 1131
星 野 行 弘	S 30	1. 星野医院開業 2. 長崎市浪之平町 3-19			850	0958 (22) 8702
長 西 靖	S 46	1. 広島鉄道病院：広島市二菜の里 3-1-36 2. 広島市西区己斐西町 23-6			730 733	0822 (61) 2251 0822 (28) 9568
冬 野 誠 三	S 47	1. 唐津日赤病院：唐津市ニタ子町 1 丁目 5-1 2. 唐津市菜畑 3422-1 ひまわりマシ ン 201			847 847	09557 (2) 5111 09557 (4) 7378
松 本 恵 一 良	S 48	1. 浜寺中央病院：堺市浜寺公園町 1-15 2. 高石市東羽衣 4 丁目 5-4			592 592	0722 (63) 2121 0722 (64) 8828

氏 名	卒業年次	1. 勤務先・勤務先住所 2. 現住所 3. 帰省先	〒	電 話 番 号
峰 雅 宣	S 48	1. 長大附属病院第1内科：長崎市坂本町71 2. 長崎市柳谷町4-13	852 852	0958 (47) 2111 0958 (44) 7031
朝 戸 末 男	S 49	1. 朝戸病院開業 2. 鹿児島県大島郡和泊町和泊14	891-91 891-91	09979 (2) 1131 09979 (2) 2280
早 田 篤	S 49	1. 長大附属病院小児科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市大岩町77-10	852 852	0958 (47) 2111 0958 (62) 5622
内 田 隆 寿	S 49	1. 長大附属病院第2外科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市富士見町10-21	852 852	0958 (47) 2111 0958 (62) 0667
瀬 戸 信 二	S 49	1. 長大附属病院第3内科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市宝町6-18	852 850	0958 (47) 2111 0958 (45) 3139
田 川 泰	S 49	1. 長大附属病院第1外科：長崎市坂本町7-1 2. 西彼杵郡長与町嬉里郷98-12	852 859-06	0958 (47) 2111 0958 (87) 1391
富 海 五 郎	S 49	1. 松山精神病院：松山市美沢1-9-38 2. 松山市東野町1-6-15 3. 下関市山ノ田中央町	790 790 750	0899 (25) 3211 0899 (22) 7329
中 野 文 耕	S 49	1. 若松町国民健康保健診療所：南松浦郡若松町 2. 南松浦郡若松町若松郷281	853-23 853-23	09594 (6) 3315 09594 (6) 3318

丹 羽 正 美	S 49	1. 長崎大学第2薬理教室 2. 長崎県西彼杵郡長与時高田郷 1613-4	852 859-06	0958 (47) 2111 0958 (83) 5871
馬 渡 一 雄	S 49	1. 馬渡医院開業 2. 長崎市西山町2丁目291-55	850	0958 (22) 0101
桜 井 一 枝	S 49	1. 国立福山病院小児科：福山市沖野上町 2. 福山市川口町30-1	720 720	0849 (22) 0001 0849 (54) 4454
石 川 治	S 51	1. 岡山大学附属病院第2外科：岡山市鹿田町2-5-1 2. 岡山市鹿田町1-8-10 三信ビル305号	700 700	0862 (23) 7151 0862 (25) 4908
川 口 昭 男	S 51	1. 長大附属病院第1外科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市中園町15-15	852 852	0958 (47) 2111 0958 (47) 5529
神 田 源 太	S 51	1. 長大附属病院皮膚科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市片淵町1-12-7	852 850	0958 (47) 2111 0958 (22) 5529
田 中 精 一	S 51	1. 東京女子医大消化器センター：新宿区市谷河田町10 2. 世田谷区北島山5-6-15 シェルソール206号	160 157	03 (353) 8111 03 (307) 5669
堤 健 二	S 51	1. 公立御調総合病院脳神経外科 2. : 広島県御調郡御調町大字市124	722-03	08487 (6) 1111
出 口 正 己	S 53	長 大 形成外科	851-03 852 800	0958 (71) 1515 0958 (47) 1896 093 (381) 4624

氏 名	卒業年次	1. 勤務先・勤務先住所	2. 現住所	3. 帰省先	〒	電 話 番 号
土 居 浩	S 53	1. 長大附属病院小児科：長崎市坂本町 7-1 2. 諫早市中尾町 1-47 3. 愛媛県宇和島市本町追手 1-2-8			852 854 798	0958 (47) 2111 0957 (26) 4240 089954 (2) 1346
井 上 健一郎	S 54	1. 井上病院：長崎市宝町 8-9 2. 長崎市宝町 6-18 別館ビル 301 3. 長崎市岩屋町 511			850 850 852	0958 (44) 1281 0958 (46) 2218 0958 (56) 2711
浜 口 圭 介	S 54	1. 佐世保労災病院：佐世保市瀬戸越町 2. 佐世保市瀬戸越町 152 西-4 6号 3. 佐世保市常盤町 5-8			857-01 857-01 857	0956 (49) 2191 0956 (40) 8719 0956 (22) 4708
吉 良 満 夫	S 54	1. 浜崎外科 2. 長崎市曙町 3-6 浜崎外科内			852 852	0958 (61) 6043
小 村 三代治	S 54	1. 公立御津病院小児科：兵庫県揖保郡御津町中島 1666 2. 兵庫県揖保郡御津町朝臣 1265			671-13 671-13	07932 (2) 1121 07932 (2) 2950
成 松 元 治	S 54	1. 健康保険諫早総合病院：諫早市永昌東町 2. 諫早市永昌東町 23 番 80 丁 3. 佐賀市長瀬町 6-24			854 854 840	0957 (22) 1380 0957 (22) 6844
水 谷 明 正	S 54	1. 福井病院：長崎市深堀町 1-11-54 2. 長崎市御船蔵町 15-3 トーカンマシヨ 606 号			851-03 850	0958 (71) 1515 0958 (24) 2512
小 倉 猛	S 55	1. 長大附属病院手術部：長崎市坂本町 7-1 2. 長崎市平和町 23-15 メゾン平和台 301 3. 青森県東津軽郡今別町大字東月 44			852 852 030-16	0958 (47) 2111 0958 (47) 1873 01743 (6) 2355

谷 川 宗 生	S 55	1. 原爆病院：長崎市茂里町 3-15 2. 長崎市滑石 5 丁目 11 の 57	852 852	0958 (47) 1511 0958 (57) 1294
難 波 裕 幸	S 55	1. 長大附属病院第 1 内科：長崎市坂本町 7-1 2. 長崎市平和町 11-5 戸田ビル 405 3. 神奈川県箱根町大平台 395	852 852	0958 (47) 2111 0460 (2) 2562
前 原 洋 二	S 55	1. 五島中央病院整形外科：福江市木場町 福江市木場町 475 五島中央病院公舎	853 853	09597 (2) 3181
村 山 晋	S 55	1. 上野総合市民病院内科：三重県上野市四十九町 831 2. 三重県上野市茅が町 2671-2 エビスコーポ 202 号 3. 三重県伊勢市勢田町 917-63	518 518 516	0595 (24) 1111 0595 (21) 5034 0596 (25) 3722
山 近 史 郎	S 56	1. 長大附属病院第 3 内科：長崎市坂本町 7-1 2. 長崎市滑石 3-51-9 3. ”	852 852 852	0958 (47) 2111 0958 (57) 4360 ”
倉 富 彰 秀	S 57	1. 健 和 会 2. 福岡市東区唐原高節 76-2 3. 佐賀県神崎郡神崎町大字的 1495-1	813 842-01	0958 (47) 6647 09525 (2) 3800
岡 田 代 吉	S 57	1. 北九州市八幡市民病院 2. 3. 東彼杵郡千綿宿 1067		0956 (65) 3121 0956 (23) 3817 09574 (7) 0020
末 永 俊 郎	S 57	1. 中津国立病院：中津市下池永 173 2. 福岡市東区馬出 1 丁目 2-23 第一岡部ビル 806 3. 北九州市門司区鳴竹 1-14-16	871 871 801	0979 (22) 2480 093 (321) 2453
中 崎 隆 行	S 57	1. 長大附属病院 1 外科：長崎市坂本町 7-1 2. 西彼杵郡長与町高田郷 351 川口ハイッ 1-3 3. 福岡県築上郡椎田町椎田	852 859-06 829-03	0958 (47) 2111 09305 (6) 0325

氏 名	卒業年次	1. 勤務先・勤務先住所	2. 現住所	3. 帰省先	〒	電 話 番 号
永 見 耕 一	S 57	1. 佐世保総合病院：佐世保市島地町 2. 佐世保市日宇町 1522-4 3. 山口県吉敷郡小郡町山手下			857 857-11 754	0958 (24) 1515 08397 (2) 2464
永 山 雄 二	S 57	1. 長大附属病院第1内科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市泉町1-26 大塚ビル303号 3. 佐世保市須田尾町22-23			852 852 857	0958 (47) 2111 0958 (47) 1583 0956 (31) 4093
松 尾 圭 一	S 57	1. 佐賀小城町立病院 2. 佐賀県小城町立病院官舎 3. 大村市幸町25番地の123			856	0957 (54) 3662
松 永 伸 彦	S 57	1. 長大附属病院眼科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市青山町13-43 青山ビル403 3. 同 上			852 852 〃	0958 (47) 2111 0958 (78) 6680 〃
今 里 雅 之	S 58	1. 東京女子医大消化器センター：新宿区市谷河田町10 2. 東京都新宿区若松町31-8 なつめ坂メイツ新宿705号 3. 大村市杭出津2-697-4			162 162 856	03 (353) 8111 03 (207) 1756 0957 (53) 1253
小 林 誠 博	S 58	1. 八幡市民病院 (佐世保市福田外科) 2. 北九州市八幡東区前田1-11 サンハイツ前田41309 3. 北九州市小倉北区日明1-13-8			803	0958 (47) 2111 0958 (49) 2288 093 (571) 5909
平 野 友 久	S 58	1. 上戸町病院：長崎市上戸町129 2. 長崎市上戸町1-5 パティオ古館B-503 3. 長崎市西坂町3-14			852 850 850	0958 (79) 0705 0958 (78) 1082 0958 (22) 6333
日 高 真	S 59	1. 東京女子医大消化器センター：新宿区市谷河田町10 2. 新宿区若松町6-16 幸和ビル201号 3. 鹿児島県大島郡知名町田水団地12棟199			162 162 891-92	03 (353) 8111 03 (351) 0904 09979 (3) 3901

矢 次 登	S 59	1. 長崎市本尾町 7-3 2. 北高来郡高来町湯江西溝口名 241 3.	852 859-01	0958 (44) 7705 09573 - 3205
高 須 勝 也	S 60	1. 長崎市清水町 5-13 田口方 2. 北松浦郡江迎町東江迎 3.	852 859-61	0958 (47) 9509 09566 (5) 3417
中 里 貴 浩	S 60	1. 長崎市本河内町 64 2. 福江市福江町 274-5 3.	850 853	0958 (22) 6871 09597 (2) 3223
中 山 大 介	S 60	1. 長崎市本尾町 369-1 浦上ハウス 103 2. 佐世保市若葉町 10-6 山県マンション 201 3.	852 857	0958 (46) 2635
青 木 幹 弘	S 61	1. 長崎市西山町 2 丁目 209-9 2. " 3.	850 "	0958 (21) 3967 "

長崎大学医学部漕艇部現役部員名簿

学 年	氏 名	出身校	1. 現 住 所	2. 帰 省 先	〒	電 話 番 号
学 4	石 井 久 敬	築 紫 丘	1. 長崎市石神町 13-31 片岡ビル 401 2. 福岡県春日市伯玄町 2-52-1		852 816	(47) 8542〔直〕 092 (581) 8976
〃	岡 野 邦 彦	青 雲	1. 長崎市坂本町 564-1 片瀝方 2. 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-26-3		852 803	(46) 2009〔呼〕 093 (571) 4149
〃	朝 長 道 生	泰 星	1. 長崎市橋口町 11-11 第 3 仙弘ビル 203 2. 佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿乙 2189		852 843-03	(44) 7099〔直〕 09544 (3) 2117
〃	中 島 寅 彦	修 猷 館	1. 長崎市坂本町 633 辻田アパート 2 F 2. 下関市田中町 7-13		852 750	(45) 0644〔直〕 0832 (22) 8533
学 3	天 野 秀 明	金光学園	1. 長崎市坂本町 564-1 坂本アパート 3 号室 2. 神奈川県横浜市区川和町 2201-2		852 226	(46) 2009〔呼〕 045 (942) 1505
〃	金 色 正 広	東 筑	1. 長崎市平和町 18-7 深田アパート 104 2.		852	(44) 9360〔直〕
〃	吉 川 公 正	東 筑	1. 長崎市平和町 19-10 木下ビル 401 2. 北九州市若松区深町 2-7-20		852 808	(46) 0809〔直〕 093 (761) 4065
学 2	旭 隆 宏	福 岡	1. 長崎市坂本町 344-9 福田アパート 2 F 右 2. 福岡市東区土井団地 C-29		852	(46) 9249〔直〕 092 (691) 3350

学 2	白 藤 智 之	修 道	1. 広島市西区庚午中 1 丁目 18-32 2. ドルミ庚午 210	733	(46) 8254〔直〕 082 (272) 0252
〃	寺 尾 保 信	湘 南	1. 長崎市坂本町 819 田中 A P 2. インドネシア国ジャカルタ市ホテルボルグドール 295	852	(44) 2541〔直〕
〃	中 村 晋	大 濠	1. 長崎市三原町 1338 シヤトー竹内 301 号 2. 福岡市東区舞松原 1-6-18	852	(44) 2110〔直〕 092 (661) 4367
〃	山 本 修	青 雲	1. 長崎市桜馬場 1 丁目 9-20 2. 〃	850	(24) 4600〔自宅〕
〃	山 本 太 郎	竹 原	1. 長崎市坂本町 545 2. 〃	852	(47) 9121〔直〕
〃	市 川 辰 樹	松 山 北	1. 長崎市平和町 6-18 末オビル 402 号 2. 松山市久米窪田町 682-38	852 798	(44) 7933〔直〕 0899 (76) 2735
学 1	生 田 安 司	青 雲	1. 本原町 30-6-303 2. 佐世保市天神 5 丁目 6-21	852	(43) 5644〔直〕 0956 (31) 3946
〃	鈴 木 康 弘	熊 本 マリスト	1. 長崎市清水町 5-23 川原方 2. 熊本市帯山 2 丁目 5-74	852	(44) 3130〔呼〕 096 (381) 9203
〃	田 中 邦 彦	久 留 米 附 設	1. 長崎市坂本町 633 辻田アパート 2. 福岡県春日市ちくし台 5-8	852 816	(44) 0199〔直〕 092 (501) 0635

学 年	氏 名	出身高校	1. 現 住 所	2. 帰 省 先	〒	電 話 番 号
学 1	福 井 雅 士	青 雲	1. 佐賀県藤津郡嬉野町温泉二区 2. 長崎市泉町 370-2	843-03	09544 (3) 1019	
”	劉 中 誠	長 崎 西	1. 長崎市泉町 370-2 2. ”	852 ”	(48) 4321〔自宅〕 ”	
教 2	南 原 成 三	青 雲	1. 時津町左底郷 245-2 2. 上県郡峰町坂	851-21 817-13	(82) 5235〔呼〕 09208 (2) 0063	
”	黒 木 保	宮 崎 西	1. 長崎市小峰町 1-14 あこやビル 407 2. 宮崎県東臼杵郡門川町上納屋三区	852 889-06	(49) 5905〔直〕 0982 (63) 1595	
”	佐 藤 俊 一	長 野	1. 長崎市高尾町 6-4 錦戸方 2. 長野市妻科 410	852 380	(46) 0977〔呼〕 0262 (35) 2527	
”	津 田 純	神 代	1. 長崎市扇町 27-3 下川下宿 2. 東京都八王子市	852	(44) 6171〔呼〕	
”	南 恵 樹	東 筑	1. 長崎市三芳町 9-32 塩田方 2. 北九州市八幡西区千代ヶ崎 1 丁目 10-26	852 807	(46) 4628〔呼〕 093 (601) 5503	
”	中 野 基	札 旭 幌 丘	1. 長崎市岡町 5-30 キンタ・ラ・パス 103 2. 札幌市豊平区平岸一条 11 丁目 1-25	852 062	(44) 7499〔直〕 011 (823) 3106	

編集後記

なんと三月にできる本が九月にできてしまいました。忙がしかつたなどと言いつてもできません。責任を感じています。

高久 功先生

須山弘文先生

右の二人の先生が昨年度で御退官されました。今までどうもありがとうございました。

辻 泰邦先生が御逝去されました。謹んで御冥福をお祈り致します。

新部長には第二薬理学教室の尾崎正若教授におひきうけいただきました。

本誌刊行にあたり御援助して頂いた会社は次のとおりです。

伊東薬品株式会社

(株) エーザイ

(株) 九 薬

中外製薬株式会社

津村 順天堂

山下医療器械株式会社

宮崎温泉堂商店

富士医科精器

田辺製薬株式会社

キリンコ(旧パブOK)

ミドリ十字

藤村薬品株式会社

武田薬品工業株式会社

化 血 研

三栄長崎販売株式会社

三共株式会社

大栄堂器械店

重 陽 堂

小 野 薬 品

科 研 製 薬

長崎家庭教師センター学院

二 本 一

千 代

京 華 園

心からお礼申し上げます。

編集責任 市川 辰 樹

医用電子機器販売

三栄長崎販売株式会社

代表取締役 河 原 秀 人

長 崎 市 坂 本 町 4 番 3 号
電話 (0958) 45-5795 代表

医科器械・理化学器械・計量器

大栄堂器械店

長崎市桶屋町22番地
電話0958②13565番(代表)



自然のままの IgG

好中球

IgGをcoatingした
ラテックス粒子

緑膿菌

静注用人免疫グロブリン
ヴェノグロブリン[®]-I
(乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)

この写真は2枚の顕微鏡写真に基づいて作成したものである。IgG FCを介して好中球に付着したラテックス粒子の局所にH₂O₂の産生を認める(黒い部分)


 株式会社 **ニドリ十字**
 大阪市東区今橋1-15-1 〒541

やきとり・焼酎

一本

長崎市浜口町13-2

浜口フードセンター裏

電話 0958 (47) - 9496

誠実＝信頼

地域社会の健康と福祉の向上を願って
ささやかなお手伝いをいたします。

医薬品・医療品
農薬・食品の総合商社
各種臨床検査

(株)宮崎温仙堂商店

(〒854)
本社 長崎県諫早市東小路町179
電話 09572 (2) 3350(代表)

— 事業所 —

長崎. 道の尾. 島原. 佐世保. 大村. 五島.
天草. 佐賀. 武雄. 唐津. 熊本. 松橋

心と緑の調和をめざす



医薬品総合商社

株式
会社

重陽堂

長崎市恵美須町3-4 ☎21-3939

傷ついた神経を修復し
しびれ・痛み・まひを改善する

末梢性神経障害治療剤



メチコパール®

錠500 μ g・錠250 μ g・細粒・注射液500 μ g



〈薬価基準収載〉



エーザイ
東京都文京区小石川4

●メチコパールの神経修復作用

1. 神経細胞内小器官への移行がよい
2. 神経細胞内の核酸・蛋白の合成を促進する
3. 軸索内輸送を促進する
4. 髄鞘形成を促進する
5. 軸索再生を促進する
6. シナプス伝達を早期に回復させる
7. 筋電図の回復を促進する

●効能・効果

末梢性神経障害
ビタミンB12欠乏による巨赤芽球性貧血
(注射液のみ)

●ご使用にあたっては添付文書をご参照下さい。

E F 8707

基質蛋白保護作用・抗ペプシン作用

消化性潰瘍治療剤

薬価基準収載



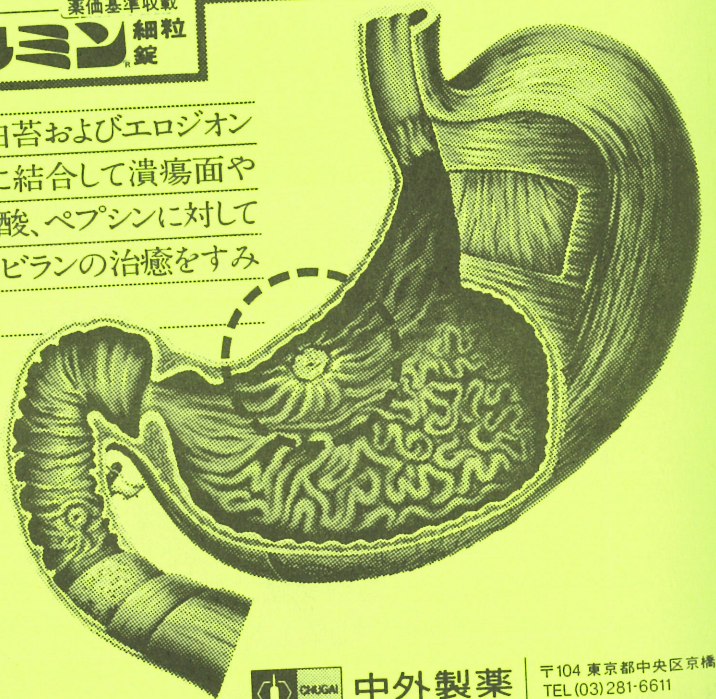
アルサルミン 細粒 錠

アルサルミンは潰瘍底部や白苔およびエロジオン部分の基質蛋白と化学的に結合して潰瘍面や炎症部を保護すると同時に、酸、ペプシンに対してバリアーを形成して、潰瘍やビランの治癒をすみやかに促進します。

〔適応症〕 胃潰瘍・十二指腸潰瘍

〔包装〕 細粒：500g、1kg、5kg、
1g×1200包、1g×3600包
錠：1200錠

■「用法・用量」、「使用上の注意」は
添付文書をご覧下さい。



中外製薬

〒104 東京都中央区京橋2-1-9
TEL (03) 281-6611



新 発 売

アリナミン[®]V

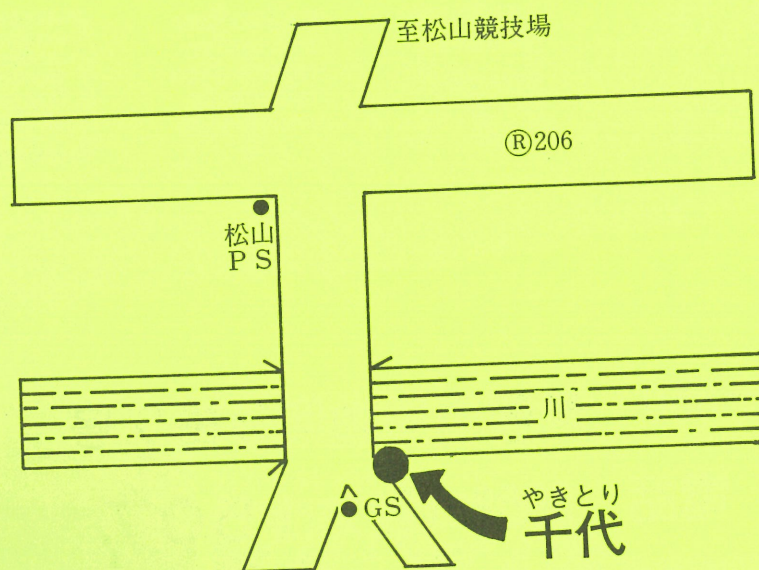
DRINK



●仕事はいつもいい状態でのぞみたい。●疲れたらアリナミンVドリンクをお飲みください。ちょっぴり感じる苦み。これは効きます。●滋養強壮／肉体疲労・病中病後・食欲不振・栄養障害・発熱性消耗性疾患・産前産後などの栄養補給／虚弱体質 武田薬品工業株式会社 〒541 大阪市東区道修町2-27

やきとり 千代

場 所 長崎市平和町2-14
営業時間 PM 5:00~AM 4:00
T E L 0058-(48)-7296



医療器械・X線装置
理化学器械全般



株式会社 富士医科精器

本社 佐世保市保立町1番35号
☎ (0956) 24-2441 〒857
長崎支店 長崎市坂本町8-4 (長大病院前)
☎ (0958) 46-9500 〒852
営業所 佐賀市若宮3丁目23番5号
☎ (0952) 31-4747 〒840-01

歓迎・送迎会・コンパ承ります

中国料理
海鮮料理

京華園

〒850 長崎市新地町9番7号
電話 0958 (21) 1507

自然のめぐみを 最先端の技術で活かす。

漢方には数千年の経験に培われた科学の重さがあります。

ツムラは大正13年、津村研究所を設置し、生薬の基原・化学・薬理を主体に研究を進めてきました。昭和58年、薬理研究所を新設し、最新の薬理学的アプローチにより、漢方製剤の有効性・安全性の確認、さらには新しい有用性の開拓など「新しい時代の漢方製剤」を追求し続けております。

また、学術臨床研究も、全国の各大学・国公立病院を中心に多面的・多角的に展開され科学的に有用性が証明されてきております。すなわち、日本において1,000年以上の期間、医療の中心であった漢方における膨大な先人たちの残した臨床経験の現代化の研究も進んでおります。自然のめぐみである薬草、草・根・木・皮を煎じて、最先端の技術で品質の安定をはかり“ツムラの顆粒”に仕上げた〔ツムラ医療用漢方製剤〕。まさにツムラ独自の技術集約の結晶といえます。

ツムラは、〔ツムラ医療用漢方製剤〕を通して、現代医療の場に役立ちたいと願っております。

漢方を科学する

ツムラ

株式会社 津村順天堂

常に健康への願いをこめて

医薬品卸問屋
伊東薬品株式会社

本 社 長崎市桶屋町45番地1

〒850 電話 代表(0958)25-5225

営業所 長崎・長崎北・佐世保・諫早
五島(福江)

国産、初のセファマイシン系抗生剤 ■日抗基：注射用セフメタゾールナトリウム ■健保適用品(要指)・(指)

セフメタゾン[®]

静注用 2g・1g・0.5g・0.25g

筋注用 0.5g

鋭い 殺菌力 CMZ

- 抗菌範囲が広く、特にグラム陰性桿菌、嫌気性菌に強い抗菌力を示します
- β -lactamaseに、強い抵抗性を有しています
- 体液、臓器内への移行も良好
- 活性のまま、尿中へ高濃度に排泄されます

■効能・効果

黄色ブドウ球菌、大腸菌、肺炎桿菌

変形菌(インドール陽性及び陰性)、バクテロイデス
ペプトコッカス属及びペプトストレプトコッカス属のうち
本剤感性菌による下記感染症

- 敗血症 ● 気管支炎、気管支拡張症の感染時、肺炎
慢性呼吸器疾患の二次感染、肺化膿症(肺膿瘍)、膿胸
- 胆管炎、胆嚢炎 ● 腹膜炎
- 腎盂腎炎、膀胱炎 ● バルトリン腺炎、子宮内感染
子宮付属器炎、骨盤死腔炎、子宮旁結合織炎
- 顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎



東京・銀座

用法・用量、副作用、使用上の
注意は、添付文書をご覧ください。



健康に奉仕する

藤村薬品株式会社

本社 長崎市田中町2022番地

TEL (37) 8331

営業所 長崎.佐世保.諫早.五島.
佐賀.武雄.大村.浦上.

昼は喫茶と食事

10:00~17:00

コーヒー
紅茶
ジュース
カルピス
ミルクラ
ー

飲みもの
オール

200均
円ー

TEA & PUB

きりんこ

長崎市かじや町6-2 ☎24-3924

夜はパブ

18:00~深夜1:00

ご予算半分、楽しさ2倍の
健全パブ

お客様との信頼関係をモットー
に、よりよき明日の教育のために、
日夜、努力を重ねております。

募

集



日頃より皆様の御活躍を職員一同深く感
謝しております。家庭教師センターでは、
熱意ある教師を待っております。



長崎県 **家庭教師センター学院**

長崎市若葉町長大正門前(宮崎ビル3F)

TEL0958-44-5916

医科器械・理化学器械・光学器械一式
医療事務コンピュータ・病院諸設備一式



医療と科学に貢献する

山下医科器械株式会社

本社／佐世保市湊町3-13
佐世保営業部／佐世保市湊町3-13
長崎支店／長崎市浜口町12-19
大村営業所／大村市杭出津2-51-1
島原営業所／島原市栄町8631
佐賀営業所／佐賀市若宮3-90-5
福岡営業所／福岡市博多区山王2-4-4
久留米営業所／久留米市長門石5丁目5-6
北九州営業所／北九州市小倉北区金田2-1-32
五島出張所／福江市福江町371-5
特機事業部
佐世保／佐世保市湊町3-13
長崎／長崎市浜口町12-19

〒857 ☎0956-25-2112(代) FAX 25-6507
〒857 ☎0956-25-2111(代) FAX 22-4720
〒852 ☎0958-44-3171(代) FAX 48-3260
〒856 ☎0957-53-5101(代) FAX 54-2168
〒855 ☎0957-63-0246(代) FAX 62-7419
〒840-01 ☎0952-30-6433(代) FAX 31-8760
〒812 ☎092-474-2071(代) FAX471-7187
〒830 ☎0942-39-0848(代) FAX 38-6404
〒803 ☎093-582-8071(代) FAX592-6140
〒853 ☎0959-74-1243(代) FAX 74-1243

〒857 ☎0956-25-2113(代) FAX 22-4702
〒852 ☎0958-49-2540(代) FAX 49-2010



効能・効果

1. 低又は無カンマクロブリン血症
2. 重症感染症における免疫増強
3. 特発性血小板減少性紫斑病

用法・用量

本剤は、添付の日局注射用シリンダーには20ml、2,500mg製剤では50mlの溶液を直接静注する。

低又は無カンマクロブリン血症、重症感染症に用いる場合は、通常、成人に対しては、1回にスルホ化人免疫グロブリン2,500mg (50ml) 1～2本を、小児に対しては、1回にスルホ化人免疫グロブリン50～150mg (1～3ml) /kg体重を投与する。なお、年齢および症状に応じて適宜増減する。

特発性血小板減少性紫斑病に用いる場合は、通常、1日にスルホ化人免疫グロブリン200～400mg (4～8ml) /kg体重を投与する。なお、5日間投与しても症状の改善が認められない場合は以降の投与を中止すること。年齢および症状に応じて適宜増減する。

ITPに対して
Fcの薬効“血小板増加効果”



Venilon®

●効能・効果追加

他剤抵抗性の**特発性血小板減少性紫斑病**に！

製造元・販売

化血研

総発売元

TEIJIN テイジン

お願い

氏名・住所・電話番号・勤務先等を変更されましたら下記のハガキにて医学部漕艇部までご通知ください。

また通信欄には、ボート部に対する要望や、「漕魂」の不備を御指摘いただければ幸いです。

キ リ ト リ セ ン

後援会名簿資料として下記のように訂正します。

		年 卒	
氏 名		改姓等の場合は 新 氏 名	
現住所	〒		
	tel	()	—
勤務先	予定期間 ~		

通信欄

--